

令和6年（2024年）版

消防年報



鹿沼市消防本部

は し が き

1. この年報は、令和6年度の消防事務の概要を収録したものです。
2. 消防統計については、令和6年中のものであり、その他消防情勢等については、令和7年4月1日現在のものをあらわしました。

令和7年 6月

鹿沼市消防本部

目 次

鹿沼市消防本部の概況	1
鹿沼市位置図	2
鹿沼市消防本部・消防署組織図	3
鹿沼市消防本部のあゆみ	4

第1章 総 務

1 予 算	10
2 土地・施設	
(1) 土 地	11
(2) 建 物	11
(3) 工 作 物	11
3 職 員	
(1) 消防職員の定数及び実員	12
(2) 消防職員の採用及び退職状況	12
(3) 消防職員の配置状況	12
(4) 消防職員の勤続年数別構成	13
(5) 消防職員の年齢別構成	14
(6) 職員研修状況	15
4 消防本部・消防署の配置	16

第2章 予 防

1 防火対象物	
(1) 建築確認同意件数	17
(2) 防火対象物数（150㎡以上）	18
2 各種申請・届出書の受理状況	19
3 危険物	
(1) 種類別危険物施設数	20
(2) 倍数別危険物施設数	21
4 幼年消防クラブ	22
5 女性防火クラブ	
(1) 連合会	22
(2) 協議会	22

第3章 警 防

1	機械・器具	
(1)	消防車両等の現勢	23
(2)	主な消防隊活動資器材等保有状況	24
(3)	主な救助隊活動資機材等保有状況	25
(4)	主な救急隊活動資器材等保有状況	26
2	消防水利	27
3	通信施設	
(1)	消防通信系統図	28
(2)	消防緊急情報システム主要機器	29
(3)	通信指令回線構成	29
(4)	無線電話	29
(5)	119番等受付件数	30
4	気 象	
(1)	気 象 概 況	31
(2)	気象通報等受理状況	32

第4章 各 種 統 計

1	火災統計	
(1)	月別火災統計	34
(2)	月別・曜日別火災件数	36
(3)	地区別火災発生状況	37
(4)	過去5年間火災損害状況	38
(5)	過去5年間月別損害見積額	39
(6)	過去5年間月別火災件数	39
(7)	過去5年間曜日別火災件数	40
(8)	過去5年間風速別火災件数	40
(9)	過去5年間時間帯別火災件数	41
(10)	過去5年間建物用途別火災件数	42
(11)	過去5年間原因別火災件数	43
(12)	過去10年間の主な火災	44
2	救急統計	
(1)	過去5年間年別救急統計	47
(2)	月別救急統計	48
(3)	年齢別救急統計	49
(4)	時間帯別救急統計	50
(5)	地区別救急統計	51
3	救助統計	
(1)	過去5年間年別救助統計	52
(2)	事故種別救助統計	52

4	災害統計	
(1)	その他災害出動件数	53
(2)	危害予防出動件数	53
(3)	風水害出動件数	53
(4)	PA連携出動件数	54

第5章 消 防 団

1	消防団情勢	
(1)	消防団員の定数及び実員	55
(2)	分団別の人口・世帯数・団員数	56
(3)	在職年数別消防団員数	56
(4)	年齢別消防団員数	56
(5)	消防団員の報酬・手当	57
(6)	消防団員の出動状況	57
2	消防機械器具	
(1)	消防機械器具配置状況	58
(2)	消防車両等配置状況の経過	58
(3)	消防車両等の現勢	59

第6章 水 防

1	組 織	62
2	水防本部各班の分担事務	62
3	水防資機材の備蓄状況	63

鹿沼市消防本部の概況

当消防本部は、昭和26年10月1日に鹿沼市消防本部として発足し、その後当市が近隣の村々を編入合併してきたことに伴い、消防本部の管轄区域も広がってまいりました。

昭和47年4月1日には消防業務・救急業務及び研修センターの業務を共同処理するため当時の鹿沼市及び栗野町によって鹿沼地区広域行政事務組合が設立され、鹿沼市消防本部は鹿沼地区広域行政事務組合消防本部となりました。

さらに、平成18年1月1日に鹿沼市が栗野町を編入合併したことに伴い、鹿沼地区広域行政事務組合は解散し、鹿沼地区広域行政事務組合消防本部は再び鹿沼市消防本部となり、現在に至っています。

本市は、栃木県の西南に位置し、県都宇都宮市の西に隣接しており、南東部は市街地を中心とする平地、北西部は日光に連なる足尾山塊からなる山岳地帯で、面積は、490.64 k m²の広大な地域を占めています。首都東京から約100 km、高速道路や鉄道で短時間で結ばれ、北関東における中枢都市機能の一翼を担う位置にあります。

さらに、豊かな自然とめぐまれた広大な森林地帯をもち、幾筋もの清流が肥沃な大地を潤しています。

また、市内一円に産出する鹿沼土は保水性・通気性に優れた園芸用の土として知られています。

気候は、海から離れているため寒暖の差が大きい内陸性の気候で、夏は太平洋方面から南東の風が吹き雷雨が激しく、冬は反対に大陸方面から北西の風が強く吹き、快晴の日が多く乾燥した状態が続きます。

近年は、工業団地・流通センター等において多くの企業が操業しており、首都圏と直結した高速道路を有効に活用し、今後県内の中核都市として更に発展することが期待されています。

(令和7年4月1日現在)

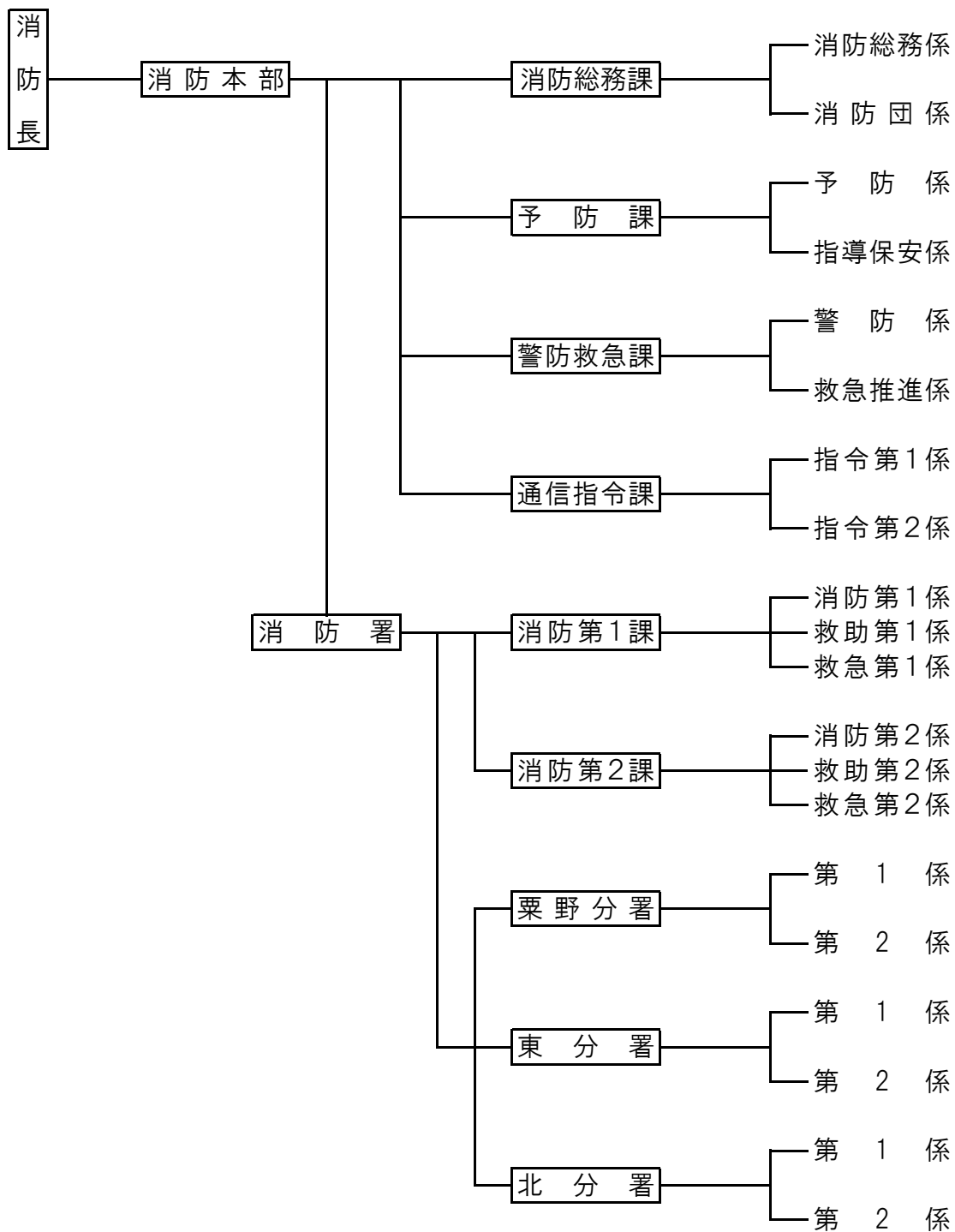
本 部 の 位 置	東 経 139 度 45 分 53 秒 北 緯 36 度 33 分 49 秒 海 抜 148.8 m
面 積	490.64 k m ²
人 口	90,061 人
世 帯 数	37,090 世帯

鹿沼市位置図



鹿沼市消防本部・消防署組織図

(令和7年4月1日現在)



鹿沼市消防本部のあゆみ

昭和26年	10月 1日	消防組織法第9条の規定に基づき、鹿沼市消防本部を設置 (久保町1696-1)
		消防職員14名を任命、消防ポンプ自動車2台
	10月 8日	消防職員14名を初任教養のため、栃木県消防訓練所に派遣
	11月 1日	水そう付ポンプ自動車1台を購入し、消防本部に配備した。
昭和27年	7月 3日	消防本部開庁式、業務開始 各班7名
昭和29年	10月01日	水そう付ポンプ自動車1台を購入し、消防本部に配備した。
		1市7村合併(鹿沼市、東大芦村、菊沢村、板荷村、北押原村、西大芦村、 加蘇村、北犬飼村)
昭和30年	7月28日	南摩村を編入合併
	8月10日	南押原村を編入合併
昭和31年	1月27日	消防ポンプ自動車1台を購入し、消防本部に配備した。
昭和32年	7月20日	鹿沼市消防本部に火災専用電話(119番)設置
昭和33年	12月 9日	消防用無線開局、基地局1、移動局1(中短波)
昭和34年	7月31日	消防本部庁舎新築により移転(今宮町1692-17)
昭和35年	4月30日	望楼完成(産業文化会館塔屋)
	8月30日	消防専用電話開通(望楼～通信室)
	11月 1日	望楼監視勤務開始(24時間)
昭和36年	4月 1日	鹿沼市消防署設置(消防本部に併設)
		鹿沼市役所総務課より消防事務を消防本部に移設
	12月14日	庁内放送設備を消防庁舎に設置
昭和38年	6月 1日	指令車を1台購入し、消防署に配備した。
	7月31日	無線電話増設(携帯2台)
昭和39年	11月10日	消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
昭和40年	3月15日	消防職員全員にアルミックス防火衣、カバー付長靴を貸与
	11月24日	超短波無線電話設置、基地局1基、移動局2基、携帯1台
昭和41年	2月 3日	水そう付(化学併用)消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
	2月23日	超短波移動局1基増設
昭和41年	3月25日	損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈され、消防署に配備した。
	3月31日	救命索発射銃及び携帯切断機を購入
	10月11日	救急自動車1台購入し、消防署に配置した。
	10月12日	救急業務開始
	11月18日	超短波無線電話移動局1基増設
	11月20日	水そう付消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
昭和42年	4月28日	油圧式救助器具を購入
	5月10日	指令車を1台購入し、消防署に配備した。
	9月26日	火災速報器を通信室に設置した。
昭和42年	11月20日	水そう付消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
	11月25日	消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
		超短波無線電話移動局3基増設
昭和43年	4月20日	消防本部加入電話増設3本
昭和43年	12月 1日	空気呼吸器2台、高圧コンプレッサー購入し、消防署に配備
	12月 5日	超短波無線電話携帯用1台増設
昭和44年	12月 1日	鹿沼警察署、消防署間に専用電話設置
昭和45年	2月12日	鹿沼ロータリークラブより救急予備車兼指令車1台寄贈された。
	5月 1日	消防本部機構改革(係制廃止、本部3担当、署2班1担当、3分隊)
	5月21日	消防庁舎新庁舎で業務開始(望楼勤務廃止)
	6月10日	消防庁舎竣工記念式典実施
昭和46年	1月23日	消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
	2月 9日	無線電話1基購入

昭和46年	4月 1日	消防職員4名増員(定員53名)初めて女性消防士採用 栗野町より救急業務の委託を受け業務開始
	6月22日	栗野町役場に救急連絡専用電話を設置
	12月22日	昭和46年第7回鹿沼市議会定例会において、鹿沼地区広域事務組合設立が 議決された。鹿沼市及び栗野町の消防業務及び救急業務に関する事務は、 昭和47年4月1日より共同処理することに決定
昭和47年	2月28日	一斉指令装置20回線設置
	3月31日	鹿沼市消防本部、鹿沼市消防署廃止
昭和47年	4月 1日	鹿沼地区広域行政事務組合を設立(鹿沼市消防本部、鹿沼市消防署 (昭和26年10月設置)は、昭和47年3月31日を以て廃止)した。 鹿沼地区広域行政事務組合消防本部及び鹿沼消防署を設置した。 消防職員55名を採用(うち51名は鹿沼市消防本部、鹿沼市消防署から 移行)した。
	10月 1日	鹿沼消防署栗野分署を鹿沼市口栗野1655に開設した。 消防職員5名を採用(実員60名)した。
	12月28日	東北自動車道開通に伴い日本道路公団から救急車1台を借用し、鹿沼 消防署に配備した。
昭和48年	2月 1日	消防職員5名を採用(実員65名)した。
	2月28日	鹿沼消防署栗野分署を鹿沼市口栗野854-1 に新築移転した。
	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を88名とした。 消防職員18名を採用(実員83名)した。 鹿沼消防署東分署を鹿沼市さつき町15工業団地内に開設した。 日本道路公団から借用の救急車を返納した。
	5月 1日	鹿沼消防署救助隊(隊員20名)を発足した。
	7月 1日	消防職員2名を採用(実員85名)した。
	7月21日	日本道路公団に返納した救急車を再借用し、東分署に配備した。
昭和49年	11月 7日	日本自動車工業会から救急車が寄贈され栗野分署に配備した。
	2月 1日	消防職員2名を採用(実員87名)した。
	2月15日	鹿沼地区危険物保安協会から指令車が寄贈され鹿沼消防署に配備した。
	2月28日	消防訓練塔(東分署敷地内)が完成した。
	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を90名とした。 消防職員7名を採用(実員90名)した。 鹿沼地区研修センターを日吉町に開設した。
	8月26日	日本道路公団から借用中の救急車が本組合に寄贈された。
	10月21日	職員定数条例の改正により消防職員定数を95名とした。
	11月21日	救助工作車を購入し、鹿沼消防署に配備した。
	12月 7日	鹿沼相互信用金庫から鹿沼市へ救急車が寄贈された。 同救急車を鹿沼市から借用し、鹿沼消防署に配備した。
昭和50年	4月 1日	消防職員6名を採用(実員94名)した。
昭和51年	4月 1日	消防職員1名を採用(実員94名)した。
昭和52年	4月 1日	消防職員2名を採用(実員94名)した。
昭和53年	2月 1日	栗野町内の電話が全域自動化されたことに伴い、119番5回線を鹿沼消防署 通信指令室に集中管理した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員95名)した。
昭和54年	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を96名とした。 消防職員3名を採用(実員96名)した。
	10月 1日	携帯受令機を購入(職員40名に配備)した。
昭和55年	1月 1日	宇都宮市と消防相互応援協定を締結した。
	4月 1日	消防職員1名を採用(実員96名)した。 今市市と消防相互応援協定を締結した。
	11月18日	栃木県防災行政無線局が設置(鹿沼消防署)された。
昭和56年	3月12日	携帯受令機を購入(職員50名に配備)した。

昭和56年	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を98名とした。
	5月20日	消防職員4名を採用(実員98名)した。
昭和57年	4月 1日	特殊災害消防相互応援協定(県内15消防本部)を締結した。
昭和58年	4月 1日	消防職員3名を採用(実員98名)した。
		職員定数条例の改正により消防職員定数を100名とした。
		消防職員4名を採用(実員100名)した。
昭和59年	6月19日	消防車(鹿沼消防署2台、東分署1台、栗野分署2台)に車外無線装置を取付けた。
	12月20日	火災情報案内(テレホンサービス)を設置した。
昭和60年	4月 1日	消防職員3名を採用(実員100名)した。
昭和61年	3月11日	山林火災用ホース搬送車が完成し、東分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員100名)した。
昭和62年	4月 1日	鹿沼消防署に警防第1課・警防第2課を設置した。
		消防職員2名を採用(実員100名)した。
		庁舎建設用地として、上殿町520-1を鹿沼市より借用した。
	11月15日	ミニ消防車「消太くん」が完成し、東分署に配備した。
昭和63年	3月 2日	大和木材(株)・第一運輸(株)から鹿沼市へ救急車とマイクロバスが寄贈された。
		同救急車とマイクロバスを鹿沼市から借用し、鹿沼消防署に配備した。
	4月 1日	消防職員1名を採用(実員100名)した。
昭和64年	1月 6日	大型水そう車を購入し、鹿沼消防署に配備した。
平成元年	4月 1日	消防職員1名を採用(実員101名)した。
		消防長を専任とした。
平成3年	1月31日	消防緊急情報システム(Ⅱ型)を導入した。
	2月 1日	組合事務局・消防本部・鹿沼消防署併設庁舎を鹿沼市上殿町520-1に新設移転した。
平成3年	3月27日	日本損害保険協会から本組合へ救急普及啓発広報車が寄贈され、鹿沼消防署に配備した。
	4月 1日	消防本部及び鹿沼消防署警防課を警備課に改めた。
	7月 1日	消防職員1名を採用(実員101名)した。
	7月25日	日本消防協会から本組合へ救急車(2B型)が交付され、東分署に配備した。
平成4年	4月 1日	消防職員2名を採用(実員101名)した。
	5月29日	救急救命士1名が誕生した。
	8月 1日	週休2日制が実施された。
平成5年	6月16日	消防訓練塔(鹿沼消防署)が完成した。
	11月30日	消防訓練場に照明灯2基を設置した。
平成6年	4月 1日	消防本部警備課を廃止。鹿沼消防署予防課及び警備課を廃止し、救急管理課を設置。通信指令室を通信指令課に改めた。
		職員定数条例の改正により消防職員定数を110名とした。
		消防職員5名を採用(実員103名)した。
		防火指導員制度を導入(2名採用)した。
	5月25日	救急救命士が2名となる。
	8月 1日	栃木地区広域行政事務組合と消防相互応援協定を締結した。
平成7年	4月 1日	消防職員3名を採用(実員104名)した。
	6月 2日	(財)日本防火協会から本組合へ防火広報車が寄贈された。
	11月15日	救急救命士が3名となる。
平成8年	3月18日	高規格救急車を購入し、鹿沼消防署に配備した。
	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を115名とした。
		消防職員6名を採用(実員110名)した。
	7月 1日	女性防火指導員制度を導入(2名採用)した。
	10月 1日	消防職員委員会が発足した。
	11月29日	救急救命士が4名となる。
平成9年	3月28日	火災予防PR車「けすぞうくん」が完成し、予防課に配備した。

平成9年	4月 1日	鹿沼消防署救急管理課を廃止。消防本部警備課及び鹿沼消防署管理課を設置した。
		消防職員7名を採用(実員117名)した。
		女性防火指導員2名を採用(実員4名)した。
	12月12日	救急救命士が5名となる。
平成10年	3月13日	鹿沼消防署に高圧ガス製造施設を整備した。
	4月 1日	鹿沼消防署北分署を鹿沼市玉田町455-6 に開設した。
		消防職員1名を採用(実員117名)した。
	11月25日	救急救命士が6名となる。
平成11年	3月16日	高規格救急車を購入し、東分署に配備した。
平成11年	4月 1日	消防職員3名を採用(実員119名)した。
	5月10日	救急救命士が7名となる。
	7月 1日	女性防火指導員2名を採用(実員4名)した。
	12月 1日	救急救命士が8名となる。
平成12年	3月15日	高規格救急車を購入し、栗野分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員117名)した。
	5月 2日	救急救命士が9名となる。
	8月 1日	火災情報案内をテレドーム化した。
	11月 9日	救急救命士が10名となる。
平成13年	3月13日	高規格救急車を購入し、北分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員119名)した。
	5月 2日	救急救命士が11名となる。
	11月20日	救急救命士が12名となる。
平成14年	3月19日	はしご消防自動車を購入し、鹿沼消防署に配備した。
	3月20日	消防本部に別棟の車庫が完成した。
	4月 1日	消防本部警備課を消防課に改めた。
		消防職員2名を採用(実員120名)した。
	5月 9日	救急救命士が13名となる。
	11月 1日	聴覚障害者用「メール119」を開設した。
平成15年	3月17日	消防庁舎にエレベーターを設置した。
	3月30日	高規格救急車を購入し、鹿沼消防署に増車配備した。
	4月 1日	消防職員4名を採用(実員122名)した。
		救急救命士が14名となる。
	5月 6日	救急救命士が15名となる。
	5月29日	消防ホームページを公開した。
	11月17日	救急救命士が16名となる。
平成16年	4月 1日	消防職員2名を採用(実員120名)した。
	4月27日	救急救命士が17名となる。
	5月13日	救急救命士が18名となる。
	10月25日	新潟県中越大震災による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として1隊(後方支援隊)、4名を派遣した。
	11月25日	救急救命士が19名となる。
平成17年	3月25日	高機能消防指令センターの運用を開始した。
	4月 1日	消防職員4名を採用(実員123名)した。
	5月12日	救急救命士が20名となる。
平成17年	8月22日	救急救命士が21名となる。
	11月17日	救急救命士が22名となる。
	11月28日	救急救命士が23名となる。
	12月31日	鹿沼地区広域行政事務組合を解散した。
平成18年	1月 1日	鹿沼市、栗野町が合併する。
		鹿沼市消防本部・消防署を設置した。
	4月 1日	消防職員7名を採用(実員124名)した。

平成18年	5月18日	救急救命士が25名となる。
	6月 2日	指揮2号車を消防署に配備(更新)した。
	6月 9日	救急救命士が26名となる。
	8月28日	指揮車を購入し、東分署に配備した。
平成19年	12月20日	大型水そう車を購入し、消防署に増車配備した。
	4月 1日	消防職員7名を採用(実員129名)した。
	5月 7日	救急救命士が27名となる。
	5月21日	救急救命士が28名となる。
	5月22日	救急救命士が29名となる。
平成20年	12月 5日	救助工作車を購入し、消防署に増車配備した。
	4月 1日	鹿沼市消防署東分署を鹿沼市さつき町14番地1に新築移転した。
		消防職員4名を採用(実員127名)した。
平成21年		災害情報メール配信を開始した。
	5月 2日	救急救命士が30名となる。
	2月24日	高規格救急車を購入し、東分署に配備した。
	3月27日	林野火災工作車を購入し、鹿沼市消防団第9分団に配備した。
	3月30日	鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関(県内13消防本部)との連携に関する協定を締結した。
	4月 1日	消防職員3名を採用(実員127名)した。
平成22年		消防本部総務課を消防本部消防総務課に改め、企画係を総務係に統合し、鹿沼市消防署救急管理課の管理係を消防総務課へ移動。
	5月 1日	消防本部消防課に施設係を新設。消防署の課を廃止し、副署長を置く。
		救急救命士が33名となる。
	3月 3日	高規格救急車を購入し、栗野分署に配備した。
	4月 1日	消防職員6名を採用(実員126名)した。
平成23年	8月 1日	救急救命士が35名となる。
	3月12日	東日本大震災による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として3隊(消火隊、救急隊、後方支援隊)、12名を岩手県に派遣(第4次派遣部隊まで、延べ52名を派遣)した。
	3月25日	東日本大震災による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として2隊(救急隊、後方支援隊)、6名を福島県に派遣(第7次派遣部隊まで、延べ18名を派遣)した。
	4月 1日	消防職員5名を採用(実員126名)した。
		鹿沼市消防署救急管理課、救急推進係を新設。消防署の課制を復活し、副署長を廃止。
平成24年	11月25日	高規格救急車を購入し、消防署に配備した。
	4月 1日	消防職員1名を採用(実員124名)した。
	7月 1日	消防庁舎空調設備を改修した。
平成25年	11月12日	高規格救急車を購入し、北分署に配備した。
	4月 1日	消防職員8名を採用(実員128名)した。
平成26年	6月 4日	鹿沼市消防署栗野分署を鹿沼市口栗野1913番地1に新築移転した。
	4月 1日	消防職員8名を採用(実員127名)した。
平成27年	3月25日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(CAFS付)を購入し、消防署に配備した。
平成27年	4月 1日	消防職員7名を採用(実員128名)した。
		消防本部消防総務課管理係を総務係に統合し、消防本部予防課の指導係と保安係を統合し、指導保安係とした。
	3月15日	消防救急無線のデジタル化工事が完了した。(谷倉山に基地局設置)
平成28年		高機能消防指令センターのデジタル対応改修が完了した。
	4月 1日	消防職員6名を採用(実員128名)した。
		消防本部消防課を地域消防課に、消防係を地域消防係に改めた。

平成28年	4月 1日	消防署救急管理課を廃止し、消防本部に警防救急課を新設し、警防係と救急推進係を設置した。
		消防署警防第1・2課を消防第1・2課に改めた。
平成29年	4月 1日	消防救急デジタル無線と新高機能消防指令センターの運用を開始した。
		職員定数条例の改正により消防職員定数を130名とした。
		消防職員5名を採用(実員128名)した。
		林野火災工作車を消防本部に配置換えした。
平成30年	3月26日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(CAFS付)を購入し、北分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員128名)した。
平成31年	2月20日	高規格救急車を購入し、東分署に配備した。
	4月 1日	女性消防士2名を含む消防職員4名を採用(実員131名)した。
		多言語同時通訳センターを導入した。
令和2年	3月26日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(CAFS付)を購入し、栗野分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員130名)した。
	8月 1日	NET119システムの運用を開始した。
	11月25日	高規格救急車を購入し、消防署に配備した。
令和3年	4月 1日	消防職員2名を採用(実員128名)した。
	7月19日	熱海市伊豆山土石流災害による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として2隊(消火隊、後方支援隊)、6名を静岡県熱海市に派遣(第3次派遣部隊まで、延べ18名を派遣)した。
令和4年	3月28日	消防訓練塔竣工。
	4月 1日	女性消防士1名を含む消防職員4名を採用(実員130名)した。
		再任用職員2名を採用した。
令和5年	4月 1日	消防職員6名を採用(実員128名)した。
		再任用職員6名を採用した。
令和6年	4月 1日	女性消防士1名を含む消防職員8名を採用(実員131名)した。
		再任用職員6名を採用した。
		消防本部地域消防課を廃止し、消防本部消防総務課に消防団係を新設した。消防総務課総務係を消防総務係に改めた。
令和7年	2月27日	岩手県大船渡市山林火災による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として2隊(消火隊、後方支援隊)、8名を岩手県大船渡市に派遣(第6次派遣部隊まで、延べ48名を派遣)した。
	4月 1日	消防職員5名を採用(実員131名)した。
		再任用職員6名を採用した。

第 1 章

総 務

1 予 算

ア 歳 入

(単位:千円)

款	令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	比 較
使用料及び手数料	14,447	14,315	132
国 庫 支 出 金	24,054		24,054
財 産 収 入	1,331	1,331	0
諸 収 入	3,428	3,321	107
歳 入 合 計	43,260	18,967	24,293

イ 歳 出

(単位:千円)

款	令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	比 較
常 備 消 防 費	301,392	171,798	129,594
非 常 備 消 防 費	86,797	144,812	△ 58,015
水 防 費	203	204	△ 1
歳 出 合 計	388,392	316,814	71,578

2 土地・施設

(1) 土地

(令和7年4月1日現在)

地 目	地 積 m ²	所 在 地	用 途
宅 地	16,389.35	鹿沼市上殿町520番地1	消防本部・消防署、訓練塔
〃	3,559.94	鹿沼市口栗野1913番地1	栗野分署
〃	2,008.34	鹿沼市さつき町14番地2	東分署
〃	2,349.00	鹿沼市玉田町455番地6	北分署

(2) 建 物

(令和7年4月1日現在)

名 称	所 在 地	構 造	建 築 面 積 m ²	延 床 面 積 m ²	起 工 年 月 日	竣 工 年 月 日
消 防 本 部 署	鹿沼市上殿町 520番地1	鉄筋コンクリート造 3 階 建	1,676.51	2,784.67	平元.10.11	平 3. 1.30 平10.3.13増築
栗 野 分 署	鹿沼市口栗野 1913番地1	鉄筋コンクリート造 平 屋 建	760.99	760.99	平24. 6. 6	平25. 2.28
東 分 署	鹿沼市さつき町 14番地2	鉄筋コンクリート造 平 屋 建	740.28	740.28	平19. 5.31	平20. 3.29
北 分 署	鹿沼市玉田町 455番地6	鉄筋コンクリート造 平 屋 建	493.68	493.68	平 9. 5.28	平10. 3.30
消 防 本 部 庫	鹿沼市上殿町 520番地1	鉄 骨 造 2 階 建 て	630.75	708.43	平13.12.10	平14. 3.20
消防訓練塔主塔	鹿沼市上殿町 520番地1	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 6階建	75.54	177.88	令3.6.17	令4.3.28
消防訓練塔副塔	鹿沼市上殿町 520番地1	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 3階建	102.19	163.50	令3.6.17	令4.3.28

(3) 工 作 物

(令和7年4月1日現在)

名 称	所 在 地	構 造	規 模	起工年月日	竣工年月日
谷倉山デジタル 無 線 局	谷倉山国有林内	鉄 板	無線局建屋等 39m ²	平26. 3	平28. 3

3 職 員

(1) 消防職員の定数及び実員

(令和7年4月1日現在)

階級 区分	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事務職員	計
定 数	階級別内訳なし								130
実 員	1	2	22	42	34		30		131

(2) 消防職員の採用及び退職状況

退 職 者	令 和 6 年 度 中	5
採 用 者	令 和 7 年 4 月 1 日	5

(3) 消防職員の配置状況

(令和7年4月1日現在)

階 級 区 分		消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事務 職員	計	(内)救急 救命士	備 考
消防本部	消 防 長	1								1		
	消防総務課		1	1	3	2				7		派遣 1
	予 防 課			2	2	3		1		8		
	警防救急課			2	4	1				7	3	
	通信指令課			3	3	3		2		11	1	
	小 計	1	1	8	12	9		3	0	34	4	
消防署	署 長		1							1		
	消防第1課			4	7	6		13		30	6	
	消防第2課			4	7	7		12		30	5	
	小 計		1	8	14	13		25		61	11	
	栗 野 分 署			2	5	4		1		12	8	再任用 2
	東 分 署			2	5	4		1		12	8	再任用 2
	北 分 署			2	6	4				12	8	再任用 2
	小 計		0	6	16	12		2		36	24	
合 計		1	2	22	42	34		30	0	131	39	

(4) 消防職員の勤続年数別構成

(令和7年4月1日現在)

階級別 年数別	消防 監	司消 令長防	司消 令防	司消 令補防	士消 長防	副消 士長防	消防 士	職事 員務	職再 任用	合 計	5 ^人	10 ^人	15 ^人
1年未満							5		2	5(2)			
1年以上							5		1	5(1)			
2 "							6		2	6(2)			
3 "							4		1	4(1)			
4 "							1			1			
5 "							2			2			
6 "					1		3			4			
7 "					1		1			2			
8 "					2		2			4			
9 "					3					3			
10 "					5		1			6			
11 "					7					7			
12 "					7					7			
13 "					1					1			
14 "				1	4					5			
15 "				4						4			
16 "				2						2			
17 "				2	2					4			
18 "				6	1					7			
19 "				7						7			
20 "				4						4			
21 "				2						2			
22 "				2						2			
23 "				1						1			
24 "				2						2			
25 "				2						2			
26 "			1	2						3			
27 "			1							1			
28 "			3	3						6			
29 "			5	1						6			
30 "			2	1						3			
31 "			4							4			
32 "										0			
33 "			3							3			
34 "										0			
35 "										0			
36 "	1									1			
37 "		1								1			
38 "			1							1			
39 "		1	1							2			
40 "			1							1			
合 計	1	2	22	42	34	0	30	0	(6)	131(6)			

※再任用職員は実員数に含まれない

(5) 消防職員の年齢別構成

(令和7年4月1日現在)

階級別 年齢別	消防 監	司 消 令 長 防	司 消 令 防	司 消 令 補 防	士 消 長 防	副 消 士 長 防	消 防 士	職 事 員 務	職 再 任 員 用	合 計	5 ^人 10 ^人 15 ^人
18 歳							1			1	
19 "										0	
20 "							6			6	
21 "							5			5	
22 "							2			2	
23 "							1			1	
24 "							3			3	
25 "							2			2	
26 "							3			3	
27 "							5			5	
28 "					1		1			2	
29 "					5		1			6	
30 "					4					4	
31 "					1					1	
32 "					3					3	
33 "					5					5	
34 "					3					3	
35 "					7					7	
36 "				2	3					5	
37 "				3	1					4	
38 "				6						6	
39 "				2	1					3	
40 "				6						6	
41 "				2						2	
42 "				1						1	
43 "				4						4	
44 "				4						4	
45 "										0	
46 "				5						5	
47 "				2						2	
48 "			1	4						5	
49 "			4							4	
50 "			2							2	
51 "			6	1						7	
52 "			2							2	
53 "										0	
54 "			3							3	
55 "		1	1							2	
56 "			1							1	
57 "		1	1							2	
58 "	1		1							2	
59 "										0	
60 "									(2)	(2)	
61 "									(1)	(1)	
62 "									(2)	(2)	
63 "									(1)	(1)	
合 計	1	2	22	42	34	0	30	0	(6)	131 (6)	

※再任用職員は実員数に含まれない

(6) 職員研修状況

(令和6年度)

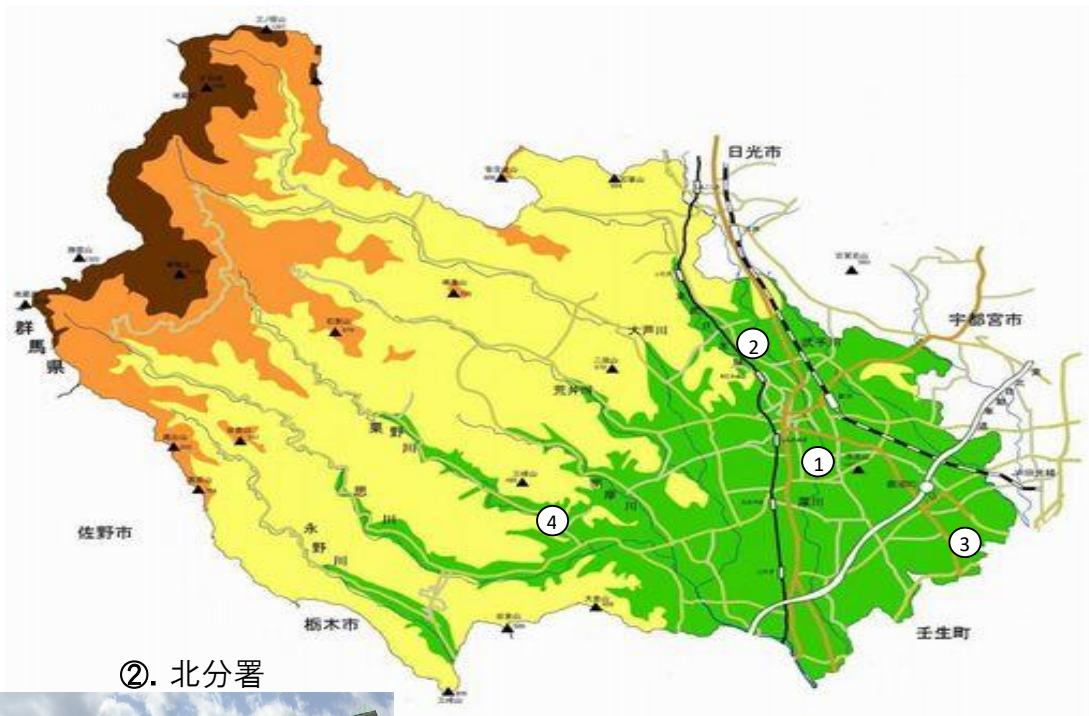
研 修 機 関 名	研 修 名		期 間	人 員
栃 木 県 消 防 学 校	初 任 教 育		R6.4.4 ～ R6.9.18	5
	専科教育	救 助 科	R6.9.24 ～ R6.10.23	2
		救 急 科	R6.10.28 ～ R6.12.24	4
		警 防 科	R7.1.20 ～ R7.1.31	1
		特 殊 災 害 科	R7.2.12 ～ R7.2.20	1
		火 災 調 査 科	R7.1.27 ～ R7.2.7	2
	幹部教育	中 級 幹 部 科	R6.10.7 ～ R6.10.11	1
	特別教育	水 難 救 助 科	R6.7.30 ～ R6.8.8	2
		ビデオ硬性挿管用 咽頭鏡研修	R7.3.17	2
			R7.3.18	2
	潜 水 士 免 許		R6.12.16	3
救 急 救 命 研 修 所	救 急 救 命 士 養 成		R6.9.9 ～ R7.3.10	1

4 消防本部・消防署の配置

①. 消防本部・消防署



- 位 置 鹿沼市上殿町520番地1
- 敷 地 面 積 16,389.35㎡
- 建 築 延 床 面 積 2,784.67㎡
- 構 造 鉄筋コンクリート造3階建
- 竣 工 年 月 日 平成3年1月30日



②. 北分署



- 位 置 鹿沼市玉田町455番地6
- 敷 地 面 積 2,349.00㎡
- 建 築 延 床 面 積 493.68㎡
- 構 造 鉄筋コンクリート造平屋建
- 竣 工 年 月 日 平成10年3月30日

③. 東分署



- 位 置 鹿沼市さつき町14番地2
- 敷 地 面 積 2,008.34㎡
- 建 築 延 床 面 積 740.28㎡
- 構 造 鉄筋コンクリート造平屋建
- 竣 工 年 月 日 平成20年3月29日

④. 栗野分署



- 位 置 鹿沼市口栗野1913番地1
- 敷 地 面 積 3559.94㎡
- 建 築 延 床 面 積 760.99㎡
- 構 造 鉄筋コンクリート造平屋建
- 竣 工 年 月 日 平成25年2月28日

第 2 章

予 防

1 防火対象物

(1) 建築確認同意件数

(令和6年度)

月 別			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
			区 分														
確 認 申 請 別	用 途	1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等													
			ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場													
		2	イ	キ ャ バ レ ー の 類													
			ロ	遊 技 場 等													
			ハ	風 俗 営 業 等													
			ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等													
		3	イ	待 合 ・ 料 理 店 の 類													
			ロ	飲 食 店	1								1				2
		4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等		1	1			1	1			1	3	3	11
		5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等								1					1
			ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等												1	1
		6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等							1				1		2
			ロ	老 人 福 祉 施 設 等		1											1
			ハ	老 人 福 祉 施 設 等					2					1			3
			ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等													
		7		小 ・ 中 ・ 高 等 学 校 等	1												1
		8		図 書 館 ・ 美 術 館 の 類													
		9	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 の 類													
			ロ	上 記 以 外 の 公 衆 浴 場													
		10		車 両 の 停 車 場 等													
		11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 の 類		1											1
		12	イ	工 場 ・ 作 業 場				2	1								3
			ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ													
		13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場			1					1					2
			ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫													
		14		倉 庫	1	1	2	2	2			1		2	3		14
		15		前各項に該当しない事業場	1	2	1	1	1	2		1		1	3	3	16
		16	イ	複 合 用 途 (特 定)													
			ロ	上 記 以 外 の 複 合 用 途													
		17		重 要 文 化 財													
				住 宅 等	5	3	2	8	4	1	5	2	3	1	2		36
				計	9	9	7	13	10	4	7	6	4	6	12	7	94
	工 事 別		新 築	7	9	7	13	9	4	7	6	4	6	11	6	89	
			増 ・ 改 築	2										1		3	
			そ の 他					1							1	2	
			計	9	9	7	13	10	4	7	6	4	6	12	7	94	
そ の 他 の 申 請			1		1				1	1		1		1	6		
合 計			10	9	8	13	10	4	8	7	4	7	12	8	100		

(2) 防火対象物数(150㎡以上)

(令和7年4月1日現在)

内 訳			件 数	内5階建以上
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等	2	
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	41	
(2)	イ	キ ャ バ レ ー の 類		
	ロ	遊 技 場 等	8	
	ハ	風 俗 営 業 等		
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2	
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店 の 類	1	
	ロ	飲 食 店	74	
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	162	
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	18	1
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	465	27
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	60	1
	ロ	老 人 福 祉 施 設 等	61	
	ハ	老 人 福 祉 施 設 等	102	1
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	7	
(7)		小 ・ 中 ・ 高 等 学 校 等	109	1
(8)		図 書 館 ・ 美 術 館 の 類	8	
(9)	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 の 類		
	ロ	上 記 以 外 の 公 衆 浴 場		
(10)		車 両 の 停 車 場 等		
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 の 類	23	
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	685	
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ	1	
(13)	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	30	
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫		
(14)		倉 庫	543	
(15)		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	372	4
(16)	イ	複 合 用 途 (特 定)	147	4
	ロ	上 記 以 外 の 複 合 用 途	82	3
(17)		重 要 文 化 財	3	
合 計			3,006	42

2 各種申請・届出書の受理状況

(令和6年度)

区 分		受付数
製造所等設置(変更)許可申請	製 造 所	8
	貯 蔵 所	9
	取 扱 所	14
製 造 所 等 完 成 検 査 申 請	製 造 所	5
	貯 蔵 所	7
	取 扱 所	13
水 張 ・ 水 圧 検 査 申 請 書		381
少 量 タ ン ク (水 張 ・ 水 圧) 検 査 申 請		32
危 険 物 保 安 監 督 者 選 解 任 届		22
少 量 危 険 物 貯 蔵 ・ 取 扱 届		19
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届		114
防 火 管 理 者 選 解 任 届		153
消 防 計 画		127
消 防 用 設 備 設 置 届		286
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書		834
炉 ・ ボ イ ラ ー 等 設 置 届		16
変 電 ・ 発 電 ・ 蓄 電 池 設 置 届		30
煙 火 届		35
水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球 の 設 置 届		0
禁 止 行 為 の 解 除 許 可 申 請 書		17
露 店 等 の 開 設 届 出 書		152
催 物 開 催 届		5
火 災 と 紛 ら わ し い 煙 又 は 火 災 を 発 す る お そ れ の あ る 行 為 等 届		165
道 路 工 事 届		151
断 水 届		1
合 計		2,591

3 危 険 物

(1) 種類別危険物施設数

(令和7年 4月 1日現在)

施 設 別			施設数
製 造 所			5
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		73
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		79
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		7
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		66
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		59
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		1
	屋 外 貯 蔵 所		20
取 扱 所	給油取扱所	営 業 用	34
		自 家 用	54
	一 般 取 扱 所		83
	第 1 種 販 売 取 扱 所		2
	合 計		483

(2) 倍数別危険物施設数

(令和7年 4月 1日現在)

施設別 倍数別	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				合 計
		屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	計	給 油	一 般	第 一 種 販 売	計	
5倍以下		23	13	4	31	1	51	4	127	15	33	2	50	177
5倍を超え10倍以下	1	24	18	3	16		2	8	71	13	28		41	113
10倍 " 50倍 "		12	29		9		5	8	63	20	16		36	99
50倍 " 100倍 "		3	5		1				9	13	3		16	25
100倍 " 150倍 "			5		1		1		7	6	1		7	14
150倍 " 200倍 "	1	1	5		2				8	3	1		4	13
200倍を超えるもの	3	10	4		6				20	18	1		19	42
計	5	73	79	7	66	1	59	20	305	88	83	2	173	483

4 幼年消防クラブ

(令和7年4月1日現在)

クラブ名	クラブ員数	クラブ名	クラブ員数
茂呂保育園	108	津田保育園	31
仁神堂幼稚園	80	日吉保育園	71
まなぶ保育園	61	あづま保育園	99
青い鳥学園晃望台幼稚園	30	こじか保育園	55
青い鳥幼児園	73	西保育園	28
光太寺鹿沼ひかり幼稚園	117	南保育園	15
村井保育園	102	にっこり保育園	47
沖保育園	77	なんま保育園	12
いずみ幼稚園	66	板荷児童館	3
聖母幼稚園	38	栗野保育園	21
合 計	20クラブ	1,134名	

5 女性防火クラブ

(1)連合会

(令和7年4月1日現在)

名 称	協議会数	会 長	副会長	役 員
鹿沼市女性防火クラブ連合会	10	1	3	7

(2)協議会

(令和7年4月1日現在)

協議会名	単位クラブ数	クラブ員数
中 央	12	1,905
東 部	11	2,932
北 部	10	2,184
菊 沢	10	3,187
北押原	-	-
北犬飼	8	2,320
東部台	12	3,866
東大芦	5	577
加 蘇	-	-
西大芦	7	78
板 荷	9	438
南 摩	-	-
南押原	10	1,077
栗 野	-	-
合 計	10協議会	94
		18,564

第 3 章

警 防

1 機械・器具

(1) 消防車両等の現勢

(令和7年4月1日現在)

所 属	車 両 名	車 名	年 式	馬 力	備 考
消 防 本 部 ・ 消 防 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	トヨタ ダイナ	H22	150	A2級
	水 そう 付 消 防 車	日野 レンジャー	H27	260	〃 CAFS装置搭載
		予備車 イスズ フォワード	H6	195	〃
	大 型 水 そ う 車	1号車 イスズ ギガ	H18	400	〃 10,000ℓ
	は し ご 車	ニッサン 専用シャーシ	H14	400	36m(艀装モリタ)
	救 急 車	1号車 トヨタ ハイメディック	R2	160	高規格 R2.11.12運用開始
		2号車 トヨタ ハイメディック	H21	150	高規格 H21.2.24運用開始
		予備車 トヨタ ハイメディック	H23	150	高規格 H23.12.10運用開始
	救 助 工 作 車	日野 レンジャー	H19	220	
	資 材 搬 送 車	トヨタ ダイナ	H6	115	
	林 野 工 作 車	トヨタ ダイナ	H21	136	H29.4.1配置換えにより配備
	指 令 広 報 車	トヨタ ランドクルーザー	H8	140	
	指 揮 車	トヨタ ハイエース	H18	151	
	広 報 車	1号車 ダイハツ ハイゼット	H30	53	H30.5.22寄贈
	消 す ぞ う	1号車 スズキ キャリー	H4	42	H26に引き上げた消防団車両を改造
	査 察 車	1号車 トヨタ タウンエース	H20	97	H20.5.30寄贈
		2号車 ダイハツ ハイゼット	H16	33	H16.11.11寄贈
	事 務 連 絡 車	1号車 スズキ エブリー	H9	50	
		2号車 ニッサン クリッパー	H19	48	
		3号車 トヨタ プリウス	H18	E 77 M 68	ハイブリッド
		4号車 ニッサン セレナ	R6	150	
		5号車 トヨタ エスティマ	H15	160	H15.5.28寄贈
	資 材 搬 送 用 ダ ン プ ト ラ ッ ク	ミツビシ キャンター	H12	125	H30 都市建設部より配置換え
栗 野 分 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	イスズ エルフ	H7	140	A2級
	水 そ う 付 消 防 車	日野 レンジャー	R2	240	〃 CAFS装置搭載
	救 急 車	トヨタ ハイメディック	R4	160	高規格 R4.10.6 運用開始
	指 令 広 報 車	トヨタ ランドクルーザー	H9	140	
東 分 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ミツビシ キャンター	H9	140	A2級
	化 学 消 防 車	ミツビシ ファイター	H12	220	〃
	救 急 車	ニッサン パラメディック	H31	147	高規格 H31.2.25運用開始
	指 令 広 報 車	トヨタ ハイエース	H18	109	
北 分 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ミツビシ キャンター	H10	140	A2級
	水 そ う 付 消 防 車	日野 レンジャー	H30	220	〃 CAFS装置搭載
	救 急 車	トヨタ ハイメディック	H24	151	高規格 H24.11.14 運用開始
	指 令 広 報 車	ニッサン タットサン	H13	110	

各所属台数は、消防本部・消防署(23台)、栗野分署(4台)、東分署(4台)、北分署(4台)

(2) 主な消防隊活動資器材等保有状況

(令和7年4月1日現在)

資 器 材 名	本 署	栗野分署	東分署	北分署	合 計
ホース 65mm	128	48	60	72	308
ホース 50mm	94	35	60	51	240
ホース 40mm	51	4	4		59
三連梯子	4	1		1	6
二連梯子	1		1	1	3
折りたたみ梯子		1			1
送排風器	1	1	1	1	4
照明器具一式	5	2	2	2	11
発電機	7	2	2	3	14
ガンタイプノズル	5	2	2	2	11
CAFS用ノズル	2	2		2	6
フォグガン	2	1	2		5
放水銃	1		1		2
消火薬液(㍒)	680		560	20	1260
ラインプロポーションナー	2				2
低発泡用筒先	1		7		8
高発泡筒先			2		2
エアータント	2				2
※複合型ガス検知器	1	1	1	1	4
携帯用拡声器	7	3	3	2	15
耐熱服			2		2
空気呼吸器	14	6	6	6	32
林野火災用 C-1ポンプ	5				5
林野火災用 D-1ポンプ	10				10
林野火災用 D-2ポンプ					0
可搬式ウインチ式	1				1
エンジンカッター	1	1	1	1	4
チェーンソー	9	2	1	1	13
熱画像直視システム	1	1		1	3
風速計	1	1	1	1	4
個人線量計	20				20
表面汚染検査計	2				2
空間線量計	5				5

※本署、栗野分署、東分署は4成分測定可能(可燃性ガス・酸素濃度・硫化水素・一酸化炭素) 北分署は2成分測定可能(可燃性ガス・酸素濃度)

(3) 主な救助隊活動資機材等保有状況

(令和7年4月1日現在)

分類	資機材名	消防署	分類	資機材名	消防署
一般救助用器具	かぎ付はしご	2	呼吸保護用器具	簡易呼吸器	2
	三連はしご	1		防塵マスク	5
	金属製折りたたみはしご	1		送排風機	2
	空気式救助マット	1	隊員保護用器具	皮手袋	5
	救命索発射銃	2		耐電手袋	11
	サバイバースリング	2		耐電衣	2
	救助用縛帯	2		耐電ズボン	2
	平坦架	1		耐電長靴	2
	ロープ	5		墜落制止用器具	7
	カラビナ	35		防塵メガネ	5
	滑車	8		携帯警報器	5
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	3		防毒マスク	5
	油圧スプレッダー	2		化学防護服	21
	可搬ウィンチ	1		陽圧式化学防護服	6
	ワイヤロープ	10		放射線個人用線量計	3
	マンホール救助器具	1	除染用器具	除染シャワー	1
	マット型空気ジャッキ式	1		除染剤散布器	2
	大型油圧スプレッダー	1	水難救助用器具	潜水器具一式	6
切断用器具	油圧切断機	1		流水救助器具一式	14
	エンジンカッター	1		救命胴衣	25
	ガス溶断器	1		水中投光器	6
	チェーンソー	1		救命浮環	3
	鉄線カッター	1		救命ボート	1
	空気鋸	1		船外機	1
	大型油圧切断機	1	山岳救助用器具	登山器具一式	2
	空気切断機	1		バスケット担架	2
破壊用器具	万能斧	3	その他の救助用器具	簡易画像検索機	2
	ハンマー	2		投光器一式	2
	携帯用コンクリート破壊器具	1		携帯投光器	5
	削岩機	1		携帯拡声器	3
	ハンマドリル	1		携帯無線機	6
検知・測定用器具	※複合型ガス検知器	2		応急処置用セット	1
	有毒ガス測定器	1		車両移動器具	1
	放射線測定器	1		その他の携帯救助工具	1
呼吸保護用器具	空気呼吸器	10		緩降機	1
	空気補充用ボンベ	3		ロープ登降機	1
	酸素呼吸器	5		発電機	3

※4成分測定可能(可燃性ガス・酸素濃度・硫化水素・一酸化炭素)

(4) 主な救急隊活動資器材等保有状況

(令和7年4月1日現在)

資 器 材 名	消防署	栗野分署	東分署	北分署	合 計
自動体外式除細動器(AED)	5	2	2	2	11
観察用モニター	3	1	1	1	6
電動式吸引器	6	2	2	2	12
自動式人工呼吸器	3	1	1	1	6
固定用酸素吸入装置	3	1	1	1	6
携帯用酸素吸入装置	5	2	2	2	11
止血帯	15	8	7	7	37
携帯用血圧計	8	4	4	2	18
携帯用パルスオキシメーター	4	2	2	2	10
全脊柱固定用バックボード	5	2	2	2	11
メインストレッチャー	3	1	1	1	6
スクープストレッチャー	5	1	1	1	8
移動用布担架	5	1	1	1	8
ポーターマット	2		1	1	4
車外救出用破壊器具(一式)	3	1	1	1	6
高圧蒸気滅菌器	1	1	1	1	4
消毒室	1	1	1	1	4
救急隊員教育用人形	5	1	1	1	8
救急自動車用電話	1	1	1	1	4
新生児搬送用保育器	1				1
スマートフォン	3	1	1	1	6
ビデオ喉頭鏡	3	1	1	1	6
患者隔離型搬送バック	2	1	1	1	5
エアロゾルカバーフレーム	2	1	1	1	5
オゾン水生成装置	1				1
オゾンガス発生装置	3	1	1	1	6
自動心臓マッサージ器		1			1

2 消防水利

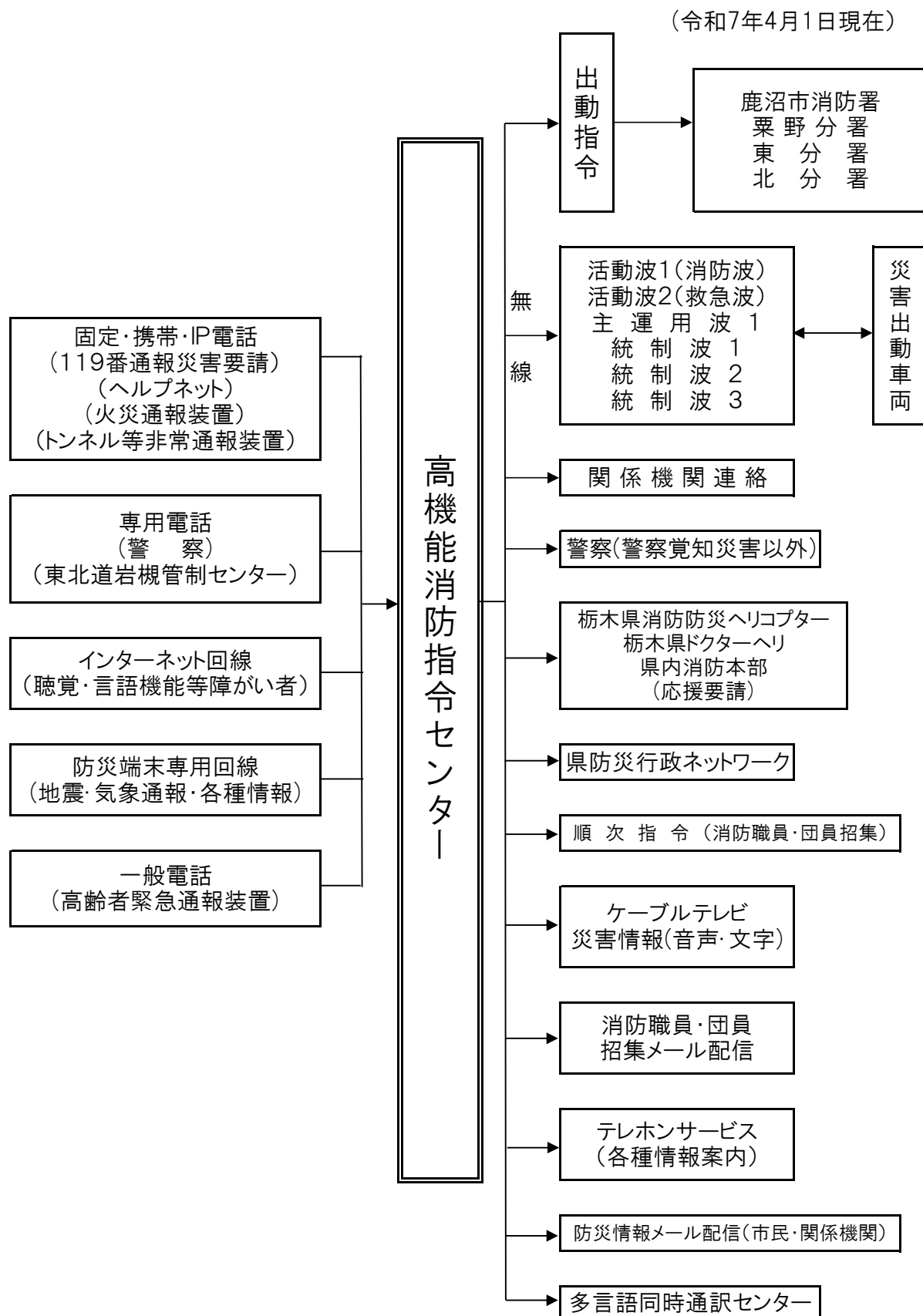
(令和7年4月1日現在)

区分 地区別	消 火 栓					防 火 水 そ う											防 火 井 戸	合 計
	公 設					公 設												
	地上式		地下式		計	10 級	20 級	30 級	40 級	50 級	60 級	70 級	100m³		計			
	単 式	複 式	単 式	複 式									級	兼飲料 用水				
鹿 沼			329	3	332	2	25	1	(9) 19	3	1		(6) 6		(15) 57		389	
菊 沢			201		201		21		(11) 28						(11) 49		250	
北押原			175		175		26		(4) 8				(1) 1		(5) 35		210	
北犬飼			253		253		16	1	(26) 39						(26) 56		309	
東部台	1		117		118		10		(2) 12				(1) 1		(3) 23		141	
東大芦			68		68		6		2						8		76	
加 蘇			33		33		11		(1) 5						(1) 16		49	
西大芦							1		(4) 18						(4) 19		19	
板 荷			6		6		5		(3) 17						(3) 22		28	
南 摩			61		61		4		(14) 19						(14) 23	4	88	
南押原			104		104		15		(4) 10						(4) 25	1	130	
粟 野	1		44		45		(1) 11	1	(5) 15	3		4			(6) 34	2	81	
粕 尾			25		25		2		(2) 8	2		4			(2) 16		41	
永 野			28		28		2		(2) 8	1		(2) 7			(4) 18		46	
清 洲			72		72		6		(6) 18			1			(6) 25	2	99	
合 計	2		1,516	3	1,521	2	(1) 161	3	(93) 226	9	1	(2) 16	(8) 8		(104) 426	9	1,956	

() 内数は耐震性防火水そう数

3 通信施設

(1) 消防通信系統図



(2) 消防緊急情報システム主要機器

(令和7年 4月 1日現在)

機 器 名 称	数 量	備 考
通 信 指 令 課	自動出動指定装置 地図検索装置 支援情報装置	3席
	音声合成装置 指令情報送信装置 車両運用表示盤 支援情報表示盤 多目的情報表示装置 順次指令装置 遠隔制御装置 データ修正装置 システム監視装置 無線監視装置 聴覚・言語機能等障がい者用パソコン	1式 1式 1面 1面 1面 1式 7台 1式 1式 1式 2台
消防署 各分署	署所端末装置 車両運用端末装置	4式 26台
		Ⅱ型(富士通ゼネラルHA-5000)補助受付機能3席 管理車両24台 6波(活動波2波・主運用波1波・統制波3波) メール119用1台、NET119用1台 指令電話 パソコン プリンタ AVM(Ⅲ型19台・Ⅱ型7台)

(3) 通信指令回線構成

(令和7年 4月 1日現在)

回 線 名	数 量	回 線 名	数 量
指 令 台	119番通報回線(光8回線対応) 119番転送回線 指令回線 順次指令回線 発信専用回線 無線受付回線 メンテナンス接続回線 庁内放送回線 119番衛星迂回回線 警察専用回線	2 2 4 4 2 2 1 1 1 1	東日本高速道路(株)専用回線(東北自動車道) 車両動態用専用回線 消防情報案内回線 電話ファックス回線 監視装置回線 ヘルプネット コールバック回線(呼び返し回線)
			1 1 1 3 4 1 1

(4) 無線電話

(令和7年 4月 1日現在)

所属	区 分		出力(W)	局数	周 波 数 内 訳 台 数			
					活動波		共通波	
	種 別				消防波	救急波	主運用波	統制波
消 防 本 部	基地局	活動波	5	2	1	1		
		共通波	16	4			1	3
	陸上移動局		10	4	陸上移動局は、全ての周波数を実装 (活動波2波・主運用波7波・統制波3波)			
	"		5	5				
消 防 署	陸上移動局		10	7				
	"		5	22				
栗 野 分 署	陸上移動局		10	5				
	"		5	4				
東 分 署	陸上移動局		10	5				
	"		5	4				
北 分 署	陸上移動局		10	5				
	"		5	4				

署活動用無線機

所属	区 分		出力(W)	局数	周 波 数 内 訳 台 数			
					署活動波1	署活動波2	関東共通波	防災相互波
消防本部	陸上移動局		1	5	5	5	5	5

(5) 119番等受付件数

(令和6年中)

覚知方法		災害等別	火災	救急	救助	その他の害他	重複	いたずら	間違い通報	管外転送	問病 院合 照会	試験	通報 訓練	その他	合計
		災害	火災	救急	救助	その他の害他	重複	いたずら	間違い通報	管外転送	問病 院合 照会	試験	通報 訓練	その他	合計
119 受付	固定電話	4	706	3	14	27	6	107		58	370	207	25	1,527	
	携帯電話	30	2,284	30	22	151		272	85	289	91	82	40	3,376	
	IP電話	4	1,372	1	2	30		19	2	63	34	289	11	1,827	
	転送受信 * 他消防本部から転送されたもの	1	75	4	2	6		5	3	12	8	1	2	119	
119 以外	一般加入	1	117	6	48			6					10	188	
	警察専用	1	110	19	27					1			3	161	
	高速専用	3	3	1	1									8	
	駆け込み		20		2						20		2	44	
	無線		21	1	6	4		2						34	
	メール														
	NET119		1											1	
	その他	3	8		3	4		3			11		5	37	
合 計		47	4,717	65	127	222	6	414	90	423	534	579	98	7,322	

4 気 象

(1)気象概況

(令和6年中)

月 別 区 分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
気 温 (℃)	最 高	14.0	12.1	25.5	29.3	30.8	33.6	37.1	36.6	35.0	30.6	24.4	16.9
	最 低	-5.5	-3.3	-4.6	1.8	6.2	12.7	19.9	21.8	15.4	6.4	-1.8	-5.7
	平 均	3.4	3.8	7.1	15.7	18.7	22.3	27.1	27.6	25.1	18.9	11.6	4.2
湿 度 (%)	最 高	96.8	95.0	96.2	95.9	96.4	96.7	96.7	97.0	97.1	97.5	97.2	95.4
	最 低	20.2	21.4	14.4	18.7	20.8	30.6	33.2	38.0	44.7	37.2	26.2	23.1
	平 均	62.0	69.3	59.3	68.0	69.8	75.7	79.4	80.8	81.8	80.3	74.7	65.2
風 速 (m/s)	最 大	10.7	17.6	22.7	20.5	13.3	12.7	18.4	16.4	11.2	11.2	12.1	17.4
	平 均	2.1	2.0	2.6	2.3	2.3	2.0	1.7	2.1	1.9	1.9	1.9	1.9
気 圧 (Hp)	最 高	1008.4	1011.4	1010.5	1014.2	1006.8	1004.8	1003.1	999.0	1005.7	1017.6	1014.3	1010.7
	最 低	981.5	996.1	976.5	984.4	977.6	982.3	981.8	981.7	986.0	988.9	982.1	982.8
	平 均	998.1	1003.2	996.4	998.1	997.1	993.5	992.4	992.2	997.6	1002.7	1001.6	996.7
最 多 風 向		北	北	北	南	南	南	南	南	南	北北西	北北西	北
総 降 雨 量 (mm)		22.0	18.0	171.5	100.5	158.0	146.0	83.5	276.5	152.0	131.0	66.0	0.0

(2) 気象通報等受理状況

(令和6年中)

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
特別 警報	大 雨													0
	大 雪													0
	暴 風													0
	暴 風 雪													0
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警 報	大 雨								2	1	1			4
	大 水								2					2
	暴 風													0
	暴 風 雪													0
	大 雪													0
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	0	0	6
注 意 報	大 雨			1			1	7	17	8				34
	大 水			1					7	2	1			11
	強 風	5	3	10	3	3			1		1		2	28
	風 雪													0
	大 雪	1	1	2										4
	雷	1		3	3	4	14	27	12	11	6	2		83
	濃 霧	7	9	9	15	12	12	7	17	15	11	12	2	128
	乾 燥	2	4	6	3	3							1	19
	な だ れ													0
	低 温	3		1									1	5
	霜			7	3	1								11
	着 雪	1	1	2										4
	着 氷													0
	小 計	20	18	42	27	23	27	41	54	36	19	14	6	327
情 報	栃 木 県 気 象 情 報	31	7	23	11	8	13	40	61	31	6	1	6	238
	異 常 天 候 早 期 警 戒 情 報													0
	栃 木 県 ・ 関 東 甲 信 地 方 注 意 情 報							26	5	2		2		35
	土 砂 災 害 警 戒 情 報								2					2
	小 計	31	7	23	11	8	13	66	68	33	6	3	6	275
火 災 気 象 通 報		42	25	39	12	9			3		1		28	159
計		93	50	104	50	40	40	107	129	70	27	17	40	767

第 4 章

各種統計

1 火 災 統 計(令和6年中)



火 災 件 数 37 件



焼 損 棟 数 27 棟



損害見積額 80,212 千円



死 者 1 人



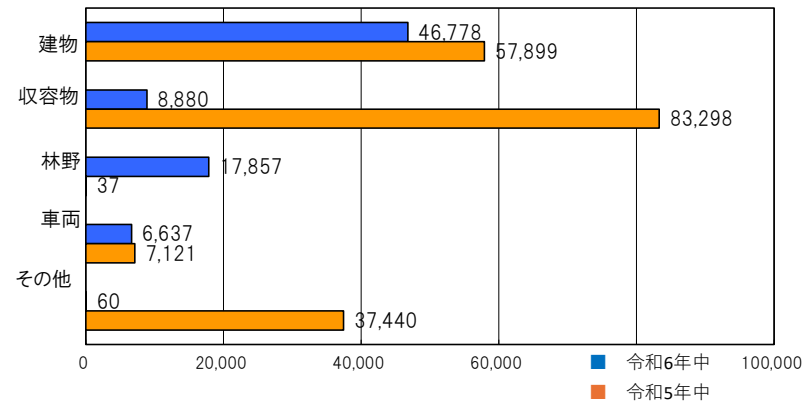
負 傷 者 4 人

(1) 月別火災統計

(令和6年中)

月別	区分	火災件数					焼損棟数					焼損面積			り災世帯				り災人員	死傷者		損害見積額(千円)					
		建物	林野	車両	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	建物(m ²)		林野(a)	全損	半損	小損	合計		死者	負傷者	建物		林野	車両	その他	合計
												床面積	表面積									建物	収容物				
1月	3	1		1	5			2	1	3	4	2	547			1	1	1		2	303	1,299	17,357			18,959	
2月	2			4	6				2	2		1				2	2	7			3	2				5	
3月	1			4	5	1				1	6											648				648	
4月	3		1		4	8		1	2	11	873	64		3		2	5	11			18,842	4,576		2,950		26,368	
5月	2			1	3			2		2	50	3				2	2	6			30	30				60	
6月				1	1																						
7月	1				1	1		1	1	3	93			1		2	3	5	1		2,086	252		614		2,952	
8月				1	1																						
9月	1				1			1		1		2									859					859	
10月	1		1	1	3			1		1	10					1	1	2		1	678	23		2,436	60	3,197	
11月	3		2		5	1			2	3	120			1		1	2	2		1	23,977	2,050		637		26,664	
12月		1		1	2								28										500			500	
合計	17	2	4	14	37	11		8	8	27	1,156	72	575	5		11	16	34	1	4	46,778	8,880	17,857	6,637	60	80,212	

損害見積額(千円)

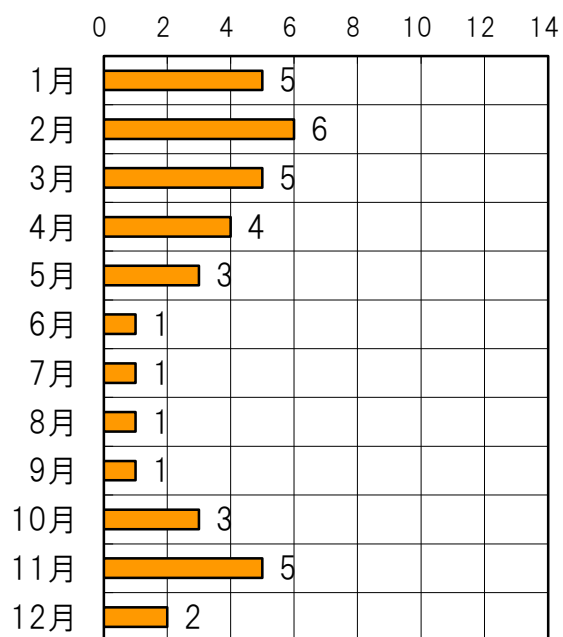


(2) 月別・曜日別火災件数

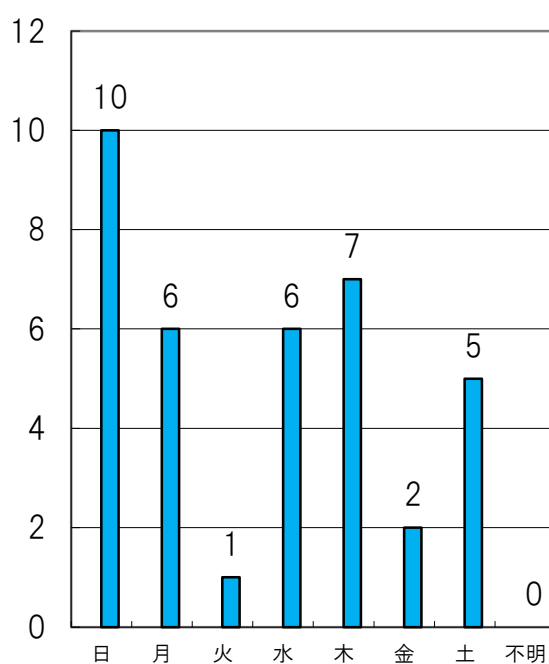
(令和6年中)

曜日 月別	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
1月	3	1					1		5
2月	2			2	1		1		6
3月	1	2		1			1		5
4月	1	1			1	1			4
5月	1		1		1				3
6月						1			1
7月	1								1
8月		1							1
9月		1							1
10月				1	1		1		3
11月				1	3		1		5
12月	1			1					2
合 計	10	6	1	6	7	2	5		37

月別火災件数

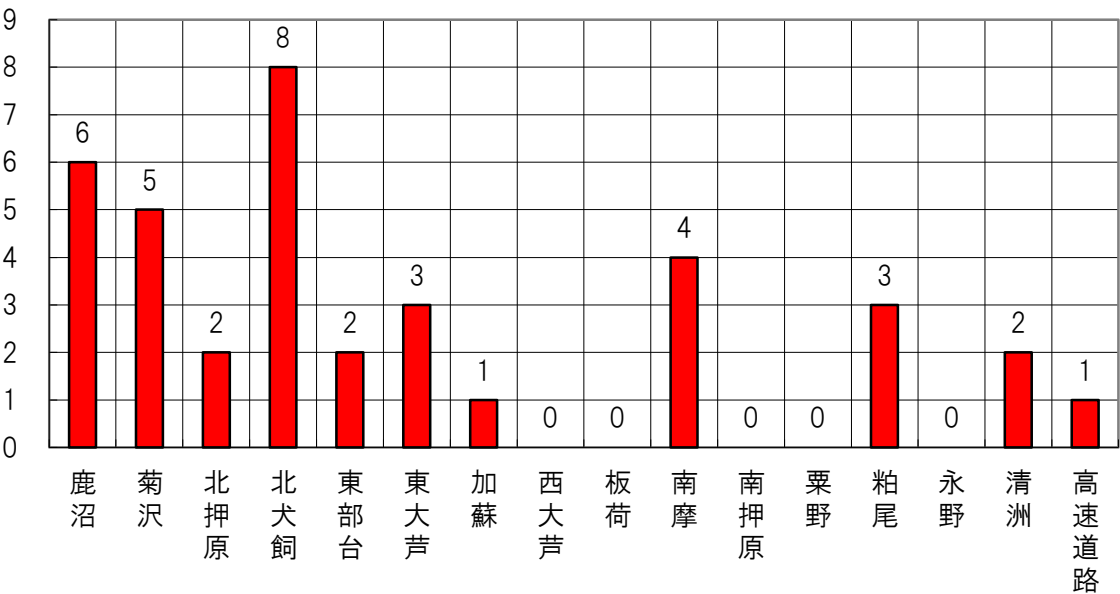


曜日別火災件数



(3) 地区別火災発生状況

(令和6年中)



(令和6年中)

区 分 地区別	火災件数					損 害 見 積 額 (単位:千円)					
	建	林	車	そ	合	建 物		林	車	そ	合
	物	野	両	の	計	建 物	収 容 物	野	両	他	計
鹿 沼	3			3	6	3	2				5
菊 沢	2		1	2	5	332	1,329		37		1,698
北 押 原	2				2	14,029	4,000		2,000		20,029
北 犬 飼	3			5	8	24,048	2,073			60	26,181
東 部 台	2				2	607					607
東 大 芦	1			2	3	1					1
加 蘇	1				1		648				648
西 大 芦											
板 荷											
南 摩	3		1		4	7,758	828		1,564		10,150
南 押 原											
栗 野											
粕 尾		1	1	1	3			17,357	2,436		19,793
永 野											
清 洲		1		1	2			500			500
高速道路			1		1				600		600
合 計	17	2	4	14	37	46,778	8,880	17,857	6,637	60	80,212

(4) 過去5年間火災損害状況

(令和2年～令和6年)

区 分 \ 年 別		令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
火災 件 数	建 物	16	16	19	12	17
	林 野	4	6	2	3	2
	車 両	4	6	4	7	4
	そ の 他	7	14	15	24	14
	計	31	42	40	46	37
り 災 世 帯	全 損	2	5	8	4	5
	半 損	1	0	1	0	0
	小 損	6	1	9	9	11
	計	9	6	18	13	16
焼 損 棟 数	全 焼	8	14	9	11	11
	半 焼	1	4	3	0	0
	部 分 焼	7	9	5	10	8
	ぼ や	7	4	20	5	8
	計	23	31	37	26	27
焼 損 面 積	建 物 (m ²)	1,960	1,367	1,239	1,172	1,156
	林 野 (a)	25	28	75	35	28
	1 件 平均 建 物 (m ²)	122	85	65	98	68
	1 件 平均 林 野 (a)	6	5	38	12	14
見 損 積 額 害	総 額 (千 円)	32,000	70,274	50,421	185,785	80,212
	1 件 平 均 (千 円)	1,032	1,673	1,261	4,039	2,168
死 者		1	1	2	2	1
負 傷 者		3	2	3	4	4

(5) 過去5年間月別損害見積額

(令和2年～令和6年) (単位:千円)

年 別 月 別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	平均
1 月	553	5,530	10	2,924	18,959	5,595
2 月		1,333	639	3,710	5	1,137
3 月	654	9,890	35,097	36,540	648	16,566
4 月	8,659	9,758	222	140,664	26,368	37,134
5 月		20		194	60	55
6 月		17,224	32			3,451
7 月	8,002	49	4,669	27	2,952	3,140
8 月	514	2,044	6,276	49		1,777
9 月	10		464		859	267
10 月	12,126	6,327		1,377	3,197	4,605
11 月	1,482	16,099	3,012	300	26,664	9,511
12 月		2,000			500	500
計	32,000	70,274	50,421	185,785	80,212	83,738

(6) 過去5年間月別火災件数

(令和2年～令和6年)

年 別 月 別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	平均
1 月	2	6	4	5	5	4
2 月	5	7	6	9	6	7
3 月	5	4	4	5	5	5
4 月	3	4	4	3	4	4
5 月	3	2		3	3	2
6 月		4	2	1	1	2
7 月	1	3	5	4	1	3
8 月	3	5	6	4	1	4
9 月	2	1	4	2	1	2
10 月	3	3	2	3	3	3
11 月	3	1	2	5	5	3
12 月	1	2	1	2	2	2
計	31	42	40	46	37	39

(7) 過去5年間曜日別火災件数

(令和2年～令和6年)

曜 日 \ 年 別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	平均
日	4	9	8	12	10	8.6
月	4	5	6	10	6	6.2
火	3	5	3	7	1	3.8
水	7	4	7	3	6	5.4
木	3	7	5	5	7	5.4
金	5	6	9	5	2	5.4
土	5	6	2	4	5	4.4
不明						
計	31	42	40	46	37	39.2

(8) 過去5年間風速別火災件数

(令和2年～令和6年)

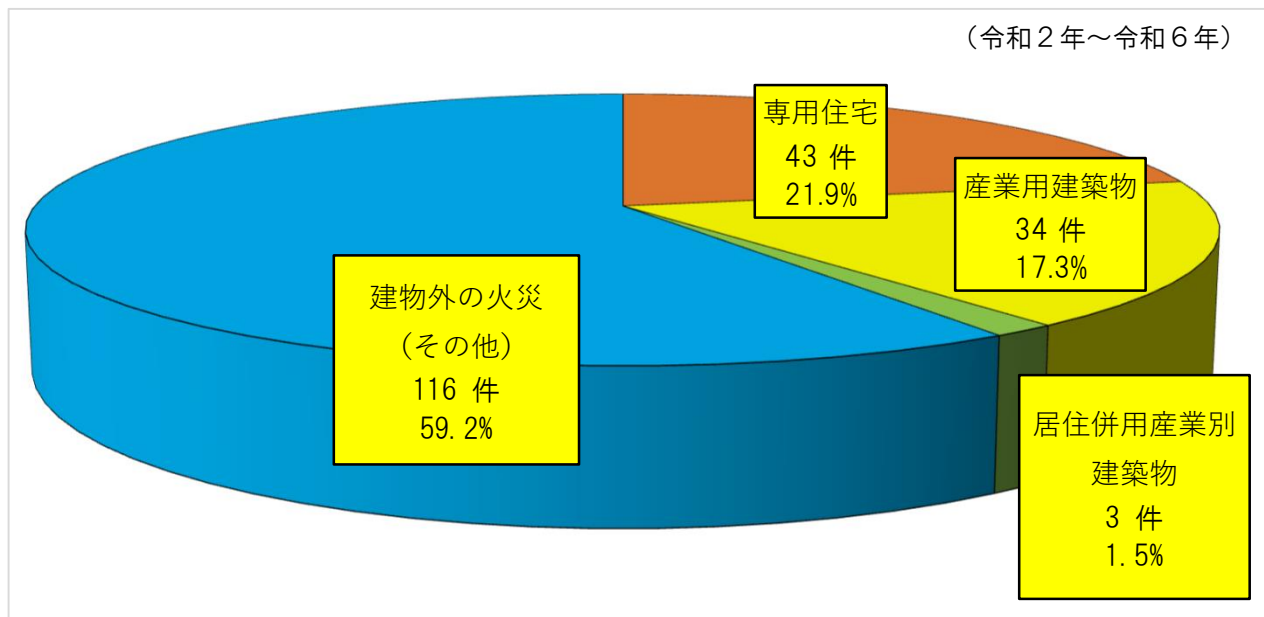
風速(m/s) \ 年 別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	平均
0m/s		2	2	3		1.4
1m/s	7	9	11	12	10	9.8
2～3m/s	17	16	20	23	17	18.6
4～5m/s	5	10	4	5	4	5.6
6～9m/s	2	5	3	2	5	3.4
10～14m/s				1	1	0.4
15～19m/s						
20m/s以上						
不明						
計	31	42	40	46	37	39.2

(9) 過去5年間時間帯別火災件数

(令和2年～令和6年)

年 別 時間別	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
0時 ～ 1時	1	1	1	1	
1時 ～ 2時	1				1
2時 ～ 3時				2	
3時 ～ 4時		1		3	1
4時 ～ 5時		2		1	2
5時 ～ 6時			1		1
6時 ～ 7時	1				1
7時 ～ 8時	2	2	1	3	
8時 ～ 9時		2	1	2	
9時 ～ 10時	2	2	4	2	3
10時 ～ 11時	6	2		2	3
11時 ～ 12時	3	6	3	3	3
12時 ～ 13時	2	1	3	5	3
13時 ～ 14時	2	8	5	3	8
14時 ～ 15時	4	3	2	3	
15時 ～ 16時	2	3	2	4	3
16時 ～ 17時		1	3	1	2
17時 ～ 18時	2	3	3	1	
18時 ～ 19時		2	5	2	2
19時 ～ 20時	1	1	1	1	1
20時 ～ 21時	1		2	2	1
21時 ～ 22時		2	1	1	2
22時 ～ 23時	1		2	2	
23時 ～ 24時				2	
不 明					
計	31	42	40	46	37

(10) 過去5年間建物用途別火災件数



用途別			令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
建築物	専用住宅		7	7	8	7	14
	居住併用産業別建築物	農 林 水 産 業					1
		鉱 工 業					
		商 業					
		サ ー ビ ス 業					
		そ の 他	2				
	産業用建築物	事 務 所	1		2		
		店 舗		1		1	1
		工 場 ・ 作 業 場	4	2	8	3	1
		倉 庫	1	4		1	
		車 庫					
		研 究 所					
		養 畜 舎		1			
		特 殊 対 象 物					
		そ の 他	1	1	1		
	林 野		2	6	2	3	2
	車 両		4	6	4	7	4
	そ の 他		9	14	15	24	14
	計		31	42	40	46	37

(11) 過去5年間原因別火災件数

(令和2年～令和6年)

原因別 \ 年別	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
たばこ		1	4	2	
たき火	3	8	8	10	6
火遊び		1			
こんろ	4	2		1	3
こたつ					
放火	6	1	2		
風呂・かまど	1				
炉・焼却炉		1	1	1	1
ストーブ		3			
放火の疑い				4	
マッチ・ライター			2		3
煙突・煙道					
電灯電話等 の配線	1	2	3	5	3
電気機器・装置 配線器具	2	1	2	3	3
その他	8	15	10	14	13
不明・調査中	6	7	8	6	5
計	31	42	40	46	37

(12) 過去10年間の主な火災

損害見積額1,000 万円以上、建物焼損面積300㎡以上、死傷者3名以上のいずれかに該当する火災を収録

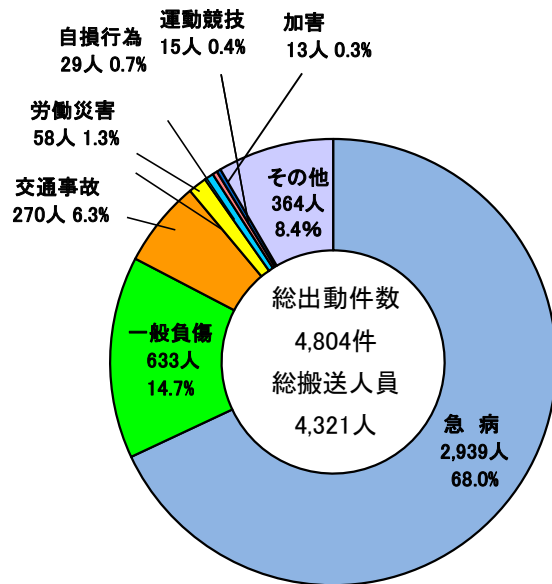
(平成27年～令和6年)

出 火 日 時	出 火 場 所	出 火 原 因	焼 損 面 積 (m ²)	損 害 見 積 額 (千 円)	負 傷 者	死 者
平成27年2月21日 13時45分	鹿沼市西茂呂4丁目 一般住宅	石油ストーブ	21	11,804	1	
平成27年5月31日 8時05分	鹿沼市茂呂 遊技場	不明	265	46,004		
平成28年1月26日 8時23分	鹿沼市千渡 一般住宅	ストーブ	92	33,355		
平成28年3月3日 15時30分	鹿沼市上永野 林野	焚火	187,000	37,189	1	
平成29年1月11日 20時00分	鹿沼市寺町 一般住宅	オイルヒーター	304	13,505	2	
平成29年3月19日 18時20分	鹿沼市上石川 事務所	不明	98	21,830		
平成29年4月15日 10時15分	鹿沼市高谷 工場	不明	3,309	44,242		
平成29年10月30日 6時45分	鹿沼市深程 工場	電気配線	762	44,007		
平成30年6月2日 4時15分	鹿沼市府所町 倉庫	不明	134	14,486		
平成30年9月16日 21時10分	鹿沼市深程 一般住宅	蚊取線香	284	17,923	1	
平成30年11月1日 5時30分	鹿沼市草久 茶屋	電気配線器具	155	15,448		
平成30年12月8日 18時25分	鹿沼市日吉町 店舗	こんろ	234	14,000		
平成31年1月9日 18時10分	鹿沼市栃窪 工場	電気配線器具	725	74,663		
平成31年4月10日 0時30分	鹿沼市中田町 貸店舗	不明	358	11,341	2	

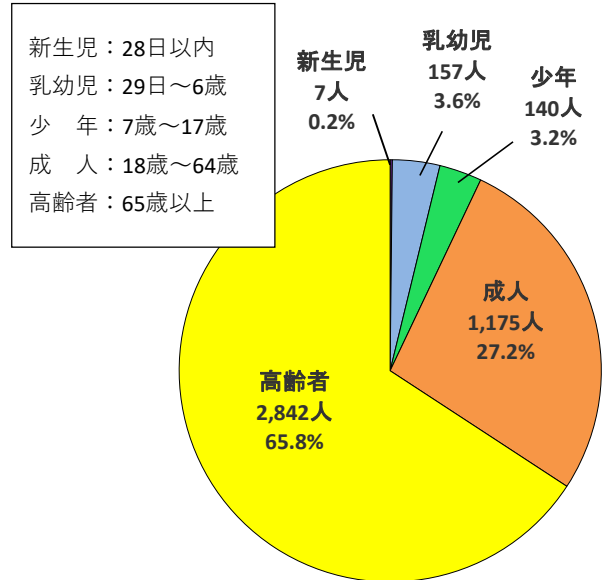
出 火 日 時	出 火 場 所	出 火 原 因	焼 損 面 積 (m ²)	損 害 見 積 額 (千 円)	負 傷 者	死 者
令和1年11月26日 1時40分	鹿沼市上永野 一般住宅	不明	418	6,450		1
令和3年4月1日 18時40分	鹿沼市池ノ森 一般住宅	たき火	413	9,266		
令和3年6月21日 8時30分	鹿沼市さつき町 集塵機	粉体摩擦		17,167		
令和3年11月11日 11時00分	鹿沼市藤江町 一般住宅	不明	248	16,099		
令和4年3月21日 17時26分	鹿沼市寺町 一般住宅	たばこ	584	35,095		1
令和5年3月20日 9時21分	鹿沼市栄町 一般住宅	不明	125	33,175	2	
令和5年4月16日 23時24分	鹿沼市亀和田町 工場	放火の疑い	420	138,663		
令和6年1月29日 11時31分	鹿沼市中粕尾 山林内	焚火	547	17,357	2	
令和6年4月28日 13時25分	鹿沼市縦山町 一般住宅	こんろ	772	20,000		
令和6年11月14日 21時26分	鹿沼市上石川 一般住宅	不明	120	25,420		

2 救 急 統 計（令和6年中）

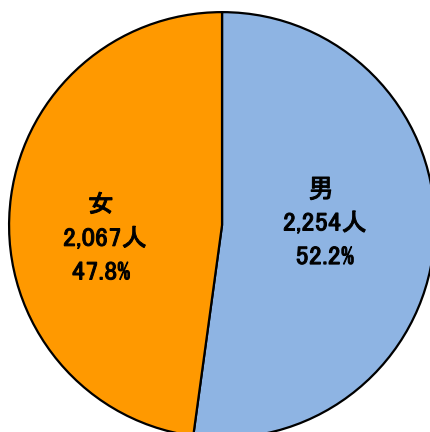
事故種別出動件数及び搬送人員



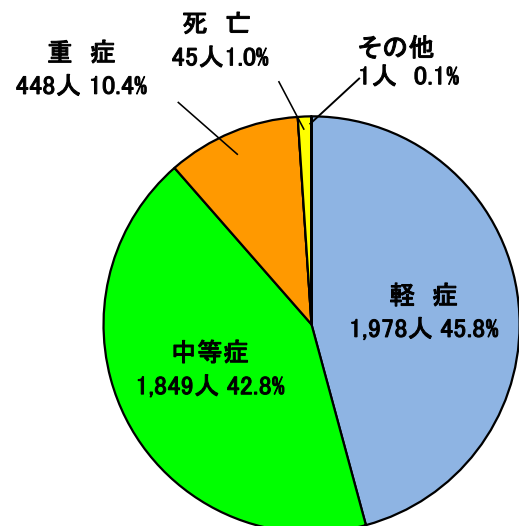
年齢区分別搬送人員



性別別搬送人員



傷病程度別搬送人員



(1) 過去5年間年別救急統計

(令和2年～令和6年)

年 別 区 分		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出 動 件 数		3,787	3,960	4,721	4,906	4,804
搬 送 件 数		3,510	3,651	4,166	4,392	4,295
搬 送 人 員		3,533	3,674	4,190	4,440	4,321
	男	1,892	1,902	2,300	2,384	2,254
	女	1,641	1,772	1,890	2,056	2,067
死 亡		59	69	80	64	45
重 症		347	417	449	465	448
中 等 症		1,543	1,568	1,731	1,835	1,849
軽 症		1,584	1,620	1,930	2,076	1,978
そ の 他		0	0	0	0	1
火 災		3	3	2	4	1
自 然 災 害		0	0	1	0	0
水 難		1	1	3	2	0
交 通 事 故		298	293	276	303	270
労 働 災 害		39	45	54	48	58
運 動 競 技		6	5	18	22	15
一 般 負 傷		500	522	614	619	633
加 害		12	4	9	9	13
自 損 行 為		30	17	30	36	29
急 病		2,276	2,394	2,844	3,049	2,939
そ の 他	転 院 搬 送	367	389	338	346	363
	そ の 他	1	1	1	2	0

(2) 月別救急統計

(令和6年中)

月 別 区 分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計	比 率 (%)
出 動 件 数		445	397	389	321	364	370	458	403	416	411	366	464	4,804	100.0
	火 災	1	0	0	2	1	0	1	0	0	1	0	0	6	0.1
	自 然 災 害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	水 難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	交 通 事 故	20	37	21	18	23	23	30	24	29	21	20	24	290	6.0
	労 働 災 害	6	6	6	3	6	4	3	5	5	8	3	6	61	1.3
	運 動 競 技	0	0	1	0	5	3	1	0	1	3	1	0	15	0.3
	一 般 負 傷	54	50	44	41	58	54	70	61	55	60	55	79	681	14.2
	加 害	0	0	4	1	0	1	0	0	1	2	1	1	11	0.2
	自 損 行 為	7	3	3	7	2	4	4	2	4	4	7	7	54	1.1
	急 病	326	271	284	214	237	247	307	288	286	273	245	308	3,286	68.4
そ の 他	転 院 搬 送	27	28	23	29	29	29	40	21	33	35	31	38	363	7.6
	そ の 他	4	2	3	6	3	5	2	2	2	4	3	1	37	0.8
搬 送 人 員		383	364	362	285	332	328	425	353	380	370	329	410	4,321	100.0
	男	188	195	194	137	175	162	236	179	202	200	169	217	2,254	52.2
	女	195	169	168	148	157	166	189	174	178	170	160	193	2,067	47.8
	死 亡	6	3	7	5	1	5	1	1	2	2	7	5	45	1.0
	重 症	43	35	46	34	33	39	28	26	44	38	31	51	448	10.4
	中 等 症	181	160	145	124	143	123	191	152	156	150	146	178	1,849	42.8
	軽 症	153	165	164	122	155	161	205	174	178	180	145	176	1,978	45.8
	そ の 他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0

(3) 年齢別救急統計

(令和6年中)

年齢区分 区 分		新 生 児 28 日 以 内	乳 幼 児 29 日 ～ 6 歳	少 年 7 歳 ～ 17 歳	成 人 18 歳 ～ 64 歳	高 齢 者 65 歳 以 上	計
搬 送 人 員		7	157	140	1,175	2,842	4,321
	死 亡	0	0	0	4	41	45
	重 症	1	5	2	91	349	448
	中 等 症	5	34	23	362	1,425	1,849
	軽 症	1	118	115	717	1,027	1,978
	そ の 他	0	0	0	1	0	1
	火 災	0	0	0	1	0	1
	自 然 災 害	0	0	0	0	0	0
	水 難	0	0	0	0	0	0
	交 通 事 故	0	1	27	154	88	270
	労 働 災 害	0	0	0	51	7	58
	運 動 競 技	0	0	8	6	1	15
	一 般 負 傷	0	31	22	93	487	633
	加 害	0	0	0	11	2	13
	自 損 行 為	0	0	3	21	5	29
	急 病	3	119	75	743	1,999	2,939
そ の 他	転院搬送	4	6	5	95	253	363
	そ の 他	0	0	0	0	0	0

(4) 時間帯別救急統計

(令和6年中)

時間帯別 区 分		時 間 帯 別 内 訳												計
		0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
出 場 件 数		181	155	191	404	617	674	578	511	485	447	316	245	4,804
火 災		0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	6
自 然 災 害		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交 通 事 故		4	5	6	32	34	44	37	35	36	31	12	14	290
労 働 災 害		1	2	0	0	10	16	3	17	6	3	0	3	61
運 動 競 技		0	0	0	0	0	6	3	2	1	0	3	0	15
一 般 負 傷		13	18	20	54	106	102	80	67	70	71	52	28	681
加 害		1	0	0	1	0	0	2	1	0	1	2	3	11
自 損 行 為		3	0	4	6	7	5	6	4	8	4	3	4	54
急 病		156	121	153	306	410	399	357	326	320	316	236	186	3,286
そ の 他	転院搬送	1	3	5	4	48	98	81	52	41	21	5	4	363
	そ の 他	2	5	2	0	2	3	7	7	3	0	3	3	37

(5) 地区別救急統計

(令和6年中)

地区別 区 分		鹿 沼	菊 沢	北 押 原	北 犬 飼	東 部 台	東 大 芦	加 蘇	西 大 芦	板 荷	南 摩	南 押 原	粟 野	粕 尾	永 野	清 洲	計	高 速 道 路	管 外	合 計
出 動 件 数		1,291	616	498	516	743	142	65	45	83	145	233	137	65	81	129	4,789	12	3	4,804
火 災		0	1	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5	1	0	6
自 然 災 害		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交 通 事 故		53	31	32	55	46	8	3	5	3	6	24	3	3	0	7	279	9	2	290
労 働 災 害		3	7	7	19	1	3	2	0	0	4	4	3	0	3	5	61	0	0	61
運 動 競 技		5	3	1	3	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	15	0	0	15
一 般 負 傷		186	92	64	59	99	32	9	7	10	18	28	31	12	15	19	681	0	0	681
加 害		2	1	4	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	11
自 損 行 為		11	12	3	5	13	1	0	0	0	1	0	2	5	0	1	54	0	0	54
急 病		830	443	354	346	499	97	47	33	70	109	155	95	45	63	97	3,283	2	1	3,286
そ の 他	転院搬送	189	20	29	25	78	0	0	0	0	1	20	1	0	0	0	363	0	0	363
	そ の 他	12	6	3	2	5	0	4	0	0	3	1	1	0	0	0	37	0	0	37
搬 送 人 員		1,176	555	446	480	647	127	56	44	76	126	214	118	57	74	114	4,310	9	2	4,321

3 救 助 統 計

(1) 過去5年間年別救助統計

(令和2年～令和6年)

年 別 区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
救助出動件数	77	69	86	78	67
救助活動件数	37	38	48	43	33
救 助 人 員	38	40	43	41	29
救助活動人員	320	332	400	415	286
救助活動車両	83	88	103	115	77

(2) 事故種別救助統計

(令和6年中)

事故種別 区 分	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 事 故	機 械 による 事 故	建 物 による 事 故	ガ ス 及 び 酸 事 故	爆 発 事 故	そ の 他	計
救助出動件数	1	25	0	2	1	0	0	0	38	67
救助活動件数	1	6	0	0	1	0	0	0	25	33
救 助 人 員	0	6	0	0	1	0	0	0	22	29
救助活動人員	16	54	0	0	16	0	0	0	200	286
救助活動車両	5	14	0	0	5	0	0	0	53	77

4 災害統計

(1) その他災害出動件数

(令和2年～令和6年)

年 別 区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
危 険 物 排 除	47	39	42	46	47
燃 焼 物 排 除					
警 戒 警 備	1	4	3	2	2
偵 察	20	46	19	61	65
ガ ス 漏 洩	1	1	2	1	1
そ の 他	4	4	3	15	15
合 計	73	94	69	125	130

(2) 危害予防出動件数

(令和2年～令和6年)

年 別 区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
蜂 の 巣 駆 除 等	2	2	0	1	
動 物 救 助 、 駆 除 等	6	4	7	5	7
そ の 他	8	6	8	7	3
合 計	16	12	15	13	10

(3) 風水害出動件数

(令和2年～令和6年)

年 別 区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
台 風	3				
降 雨	7	4	2		1
そ の 他		1	1		
合 計	10	5	3	0	1

(4)PA連携出動件数

(令和2年～令和6年)

年 別 区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
救 急 隊 支 援	176	175	232	167	192
ドクターヘリ等支援	48	44	40	38	24
合 計	224	219	272	205	216

第 5 章

消 防 団

1 消防団情勢

(1) 消防団員の定数及び実員

(令和7年4月1日現在)

階 級 分団別		団長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班長	団員	支援団員	計
団 本 部	定 数	1	3	7					0	11
	実 員	1	3	7					0	11
第 1 分 団	定 数			1	1	3	6	27	10	48
	実 員			1	1	3	6	18	2	31
第 2 分 団	定 数			1	1	4	8	36	10	60
	実 員			1	1	4	8	32	10	56
第 3 分 団	定 数			1	1	4	8	37	10	61
	実 員			1	1	4	8	33	9	56
第 4 分 団	定 数			1	1	5	10	38	10	65
	実 員			1	1	5	10	36	15	68
第 5 分 団	定 数			1	1	3	6	27	10	48
	実 員			1	1	3	6	25	10	46
第 6 分 団	定 数			1	1	3	6	25	10	46
	実 員			1	1	3	6	26	8	45
第 7 分 団	定 数			1	1	3	6	25	10	46
	実 員			1	1	3	6	16	12	39
第 8 分 団	定 数			1	1	3	6	30	10	51
	実 員			1	1	3	6	23	10	44
第 9 分 団	定 数			1	1	3	6	27	10	48
	実 員			1	1	3	6	19	9	39
第10分団	定 数			1	1	4	8	28	10	52
	実 員			1	1	4	8	28	10	52
第11分団	定 数			1	1	4	8	36	10	60
	実 員			1	1	4	8	33	10	57
第12分団	定 数			1	1	4	8	34	10	58
	実 員			1	1	4	8	32	8	54
第13分団	定 数			1	1	2	4	25	10	43
	実 員			1	1	2	4	26	10	44
第14分団	定 数			1	1	3	6	27	10	48
	実 員			1	1	3	6	27	10	48
第15分団	定 数			1	1	1	2	10	10	25
	実 員			1		1	2	6	0	10
計	定 数	1	3	22	15	49	98	432	150	770
	実 員	1	3	22	14	49	98	380	133	700

(2) 分団別の人口・世帯数・団員数

(令和7年4月1日現在)

区分 分団別	人 口	世帯数	団 員 数		団 員 平均年齢	団員1人当り	
			定 数	実 員		人 口	世帯数
団 本 部			11	11	47.7		
第 1 分 団 (鹿 沼)	21,673	9,210	48	31	43.7	699	297
第 2 分 団 (菊 沢)	13,372	5,182	60	56	35.4	239	93
第 3 分 団 (北 押 原)	10,657	4,216	61	56	37.5	190	75
第 4 分 団 (北大飼・東部台)	25,123	10,728	65	68	41.8	369	158
第 5 分 団 (東 大 芦)	2,689	1,036	48	46	37.7	58	23
第 6 分 団 (加 蘇)	1,561	623	46	45	44.7	35	14
第 7 分 団 (西 大 芦)	594	289	46	39	44.9	15	7
第 8 分 団 (板 荷)	1,373	599	51	44	41.4	31	14
第 9 分 団 (南 摩)	2,625	1,036	48	39	41.9	67	27
第 10 分 団 (南 押 原)	3,564	1,413	52	52	38.8	69	27
第 11 分 団 (栗 野)	2,489	1,039	60	57	44.6	44	18
第 12 分 団 (粕 尾)	1,115	474	58	54	41.9	21	9
第 13 分 団 (永 野)	946	382	43	44	44.0	22	9
第 14 分 団 (清 洲)	2,280	863	48	48	43.3	48	18
第 15 分 団 (全 地 区)			25	10	44.6		
計	90,061	37,090	770	700	42.1	129	53

(3) 在職年数別消防団員数

(令和7年 4月 1日現在)

5 年 未 満	5 年 以 上 10 年 未 満	10 年 以 上 15 年 未 満	15 年 以 上 20 年 未 満	20 年 以 上 25 年 未 満	25 年 以 上 30 年 未 満	30 年 以 上	計
125	204	177	120	54	17	3	700

(4) 年齢別消防団員数

(令和7年 4月 1日現在)

20 歳 未 満	20 歳 以 上 25 歳 未 満	25 歳 以 上 30 歳 未 満	30 歳 以 上 35 歳 未 満	35 歳 以 上 40 歳 未 満	40 歳 以 上 45 歳 未 満	45 歳 以 上 50 歳 未 満	50 歳 以 上 55 歳 未 満	55 歳 以 上 60 歳 未 満
1	16	33	99	146	167	120	59	33

60 歳 以 上	計	平 均 年 齢
26	700	42.1

(5) 消防団員の報酬・手当

(令和7年4月1日現在)(単位:円)

区分 支給単位 階級	報 酬	出 動 報 酬		警 戒 及 び 訓 練	※1 1日あたりの災害活動時間が7時間45分未満の場合 ※2 1日あたりの災害活動時間が7時間45分以上の場合 ※3 7時間45分未満で2暦日に渡る場合は、活動開始時刻が属する日で支給する。 ※4 7時間45分以上で2暦日に渡る場合は、日を跨いで7時間45分以上に達した時刻から2日目支給分の活動時間を起算する。
	年 額	日 額	日 額	1 日	
団 長	213,000	※1 ※3 4000	※2 ※4 8000	2,000	
副 団 長	150,000				
分 団 長	105,000				
副 分 団 長	77,000				
部 長	63,000				
班 長	50,000				
団 員	46,000				
支 援 団 員	5,000				

(6) 消防団員の出動状況

(令和6年中)

区 分 回数・人員	火 災		風 水 害 等 の 災 害	演 習・ 訓 練 等	広 報・ 指 導	特 別 警 戒	捜 索	誤 報 等	そ の 他	計
	火	災								
出 動 回 数	36	うち林野 火 災 4	4	46	37	8		4	102	237
出 動 延 人 員	781	188	214	1,940	2,422	373		29	1,491	7,250

2 消防機械器具

(1) 消防機械器具配置状況

(令和7年4月1日現在)

種 別 消防団別				消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 積 型 動 力 載 ポ ン プ 車	小 搬 型 動 力 送 ポ ン プ 車	受 令 機	(そ の 他 の 指 揮 車 ・ 広 報 車 両)
団	本	部			1		2	1
第	1	分	団	3			3	
第	2	分	団	2	2		4	
第	3	分	団	2	2		4	
第	4	分	団	3	2		5	
第	5	分	団	2	1		3	
第	6	分	団	2		1	3	
第	7	分	団	1	1	1	3	
第	8	分	団	1	1	1	3	
第	9	分	団	2	1		3	
第	10	分	団	1	3		4	
第	11	分	団	2	2		4	
第	12	分	団	2	1	1	4	
第	13	分	団	1	2		3	
第	14	分	団	3			3	
第	15	分	団				1	1
計				27	19	4	52	2

(2) 消防車両等配置状況の経過

(令和3年度～令和6年度)

車両種別		年 度	令 和 3年度	令 和 4年度	令 和 5年度	令 和 6年度	令 和 6年度末
消 防	ポ ン プ 自 動 車					(1)	27
小 型 動 力	積 載 車					1	19
ポ ン プ	搬 送 車					(1)	4
そ の 他							2
計						1(2)	52

()内数は廃棄数

(3) 消防車両等の現勢

(消防ポンプ自動車)

(令和7年4月1日現在)

所 属	車 名	年 式	馬 力	使用年月	備 考
第 1 分 団 第 1 部	ト ヨ タ	H18	150	19.1	A2級
〃 第 2 部	イ ス ズ	H30	150	7.0	〃
〃 第 3 部	ト ヨ タ	H20	150	17.0	〃
第 2 分 団 第 3 部	ト ヨ タ	H25	150	12.1	〃
〃 第 4 部	ニ ッ サ ン	H8	155	28.5	〃
第 3 分 団 第 2 部	ト ヨ タ	H28	150	9.0	〃
〃 第 3 部	ト ヨ タ	H19	150	17.5	〃
第 4 分 団 第 1 部	ト ヨ タ	H12	135	25.0	〃
〃 第 3 部	ト ヨ タ	H25	150	12.1	〃
〃 第 5 部	ト ヨ タ	R2	144	5.0	〃
第 5 分 団 第 1 部	ト ヨ タ	H12	135	25.0	〃
〃 第 2 部	ト ヨ タ	H18	150	18.6	〃
第 6 分 団 第 1 部	ニ ッ サ ン	H8	155	28.5	〃
〃 第 3 部	ト ヨ タ	H9	135	27.4	〃
第 7 分 団 第 2 部	ト ヨ タ	H25	150	11.4	〃
第 8 分 団 第 3 部	ト ヨ タ	H9	135	27.4	〃
第 9 分 団 第 1 部	ト ヨ タ	H18	150	18.6	〃
〃 第 3 部	ト ヨ タ	H20	150	17.0	〃
第 10 分 団 第 1 部	日 野	H23	150	13.4	〃
第 11 分 団 第 1 部	ト ヨ タ	H19	150	17.5	〃
〃 第 2 部	ト ヨ タ	H18	150	18.6	〃
第 12 分 団 第 1 部	イ ス ズ	H7	140	29.4	〃
〃 第 2 部	ト ヨ タ	H27	150	10.2	〃
第 13 分 団 第 2 部 第 1 班	イ ス ズ	H11	140	25.5	〃
第 14 分 団 第 1 部	イ ス ズ	H10	140	26.5	〃
〃 第 2 部	ト ヨ タ	H18	150	18.6	〃
〃 第 3 部	イ ス ズ	H15	140	21.3	〃

(小型動力ポンプ積載車)

(令和7年4月1日現在)

所 属	積 載 車					小 型 ポ ン プ				
	車 名	年式	馬力	排気量 (cc)	使用 年月	種 類	年式	馬力	使用 年月	備 考
団 本 部	三菱	H7	94	2,835	29	シバウラ	H7	54	29	予備車B2級
第 2 分 団 第 1 部	トヨタ	H31	144	2,982	6	トーハツ	H31	30	6	B2級
〃 第 2 部	トヨタ	H27	144	2,982	10.2	シバウラ	H27	46	10.1	〃
第 3 分 団 第 1 部	トヨタ	H18	98	1,998	19.1	シバウラ	H18	62	19.0	〃
〃 第 4 部	ニッサン	H9	91	1,990	27.6	トーハツ	H25	40	11.3	〃
第 4 分 団 第 2 部	ニッサン	H8	91	1,990	28.3	シバウラ	H8	43	28.3	〃
〃 第 4 部	トヨタ	H31	144	2,982	6	シバウラ	H31	43	6	〃
第 5 分 団 第 3 部	トヨタ	H10	88	1,990	26.6	シバウラ	H12	54	24.5	〃
第 7 分 団 第 1 部	ニッサン	H12	85	2,660	24.4	シバウラ	H12	54	24.4	〃
第 8 分 団 第 1 部	トヨタ	H19	98	1,998	17.5	シバウラ	H19	62	17.4	〃
第 9 分 団 第 2 部	トヨタ	R6	132	1,990	#N/A	トーハツ	R6	60	#N/A	B1級
第 10 分 団 第 2 部	いすゞ	H27	110	2,999	10.1	トーハツ	H27	30	10.1	B2級
〃 第 3 部	トヨタ	H25	144	2,982	11.4	シバウラ	H25	62	11.4	〃
〃 第 4 部	いすゞ	H29	110	2,999	8.0	シバウラ	H29	30	7.11	〃
第 11 分 団 第 3 部	トヨタ	H30	136	4,009	7.0	シバウラ	H30	43	7.0	〃
〃 第 4 部	ニッサン	H9	85	2,663	27.6	シバウラ	H9	40	27.5	〃
第 12 分 団 第 4 部	いすゞ	H29	110	2,999	8.0	シバウラ	H29	30	7.11	〃
第 13 分 団 第 1 部	三菱	H8	94	2,835	28.4	シバウラ	H8	54	28.4	〃
〃 第 2 部 第 2 班	ニッサン	H9	85	2,663	27.6	シバウラ	H9	40	27.5	〃

(小型動力ポンプ搬送車)

(令和7年4月1日現在)

所 属	搬 送 車					小 型 ポ ン プ				
	車 名	年式	馬力	排気量 (cc)	使用 年月	種 類	年式	馬力	使用 年月	備 考
第 6 分 団 第 2 部	ダイハツ	H26	53	650	11.0	トーハツ	H26	30	11.0	B2級
第 7 分 団 第 3 部	ダイハツ	H10	42	650	26.6	シバウラ	H10	54	26.6	〃
第 8 分 団 第 2 部	ダイハツ	H29	53	650	8.0	シバウラ	H29	30	8.0	〃
第 12 分 団 第 3 部	ダイハツ	R2	53	650	5.2	トーハツ	R2	30	5.2	〃

(消防団防災活動車)

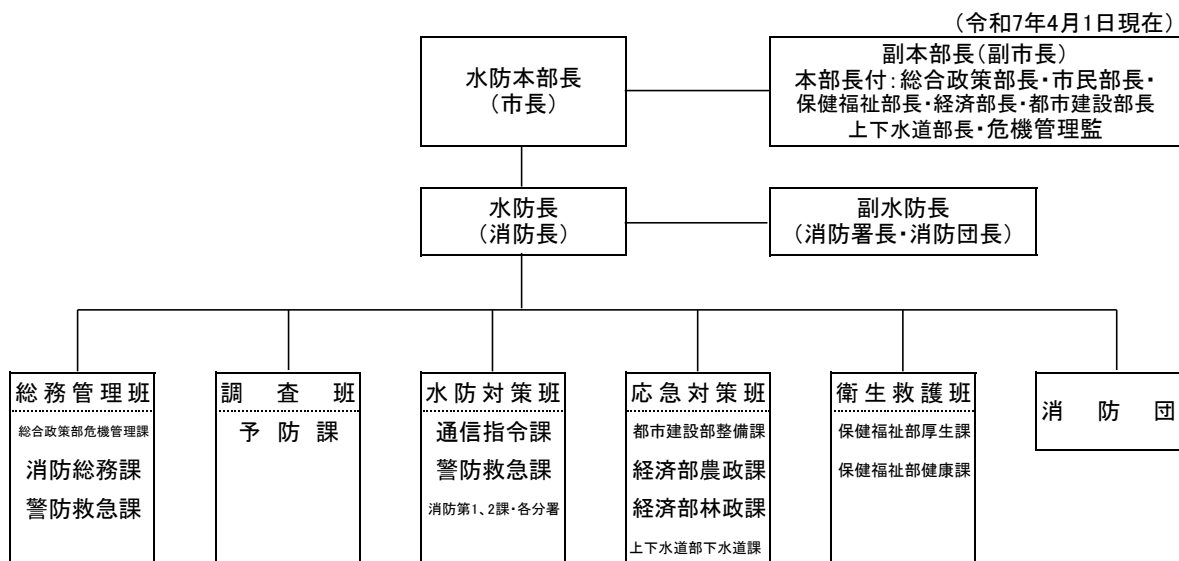
(令和7年4月1日現在)

所 属	車名	年式	馬力	排気量 (cc)	使用 年月	備 考
団 本 部	ミツビシ	H26	170	2,350	10.3	団活動1号車
第 15 分 団	ニッサン	H29	49	650	7.3	団活動2号車

第 6 章

水 防

1 組 織



2 水防本部各班の分担事務

班名	班長	班員	分担事務
総務管理班	消防本部警防救急課長	危機管理課職員 消防総務課職員 警防救急課職員	1 本庁各部との連絡調整に関すること 2 災害対策本部(設置された場合)との連絡調整に関すること 3 水害の集計及び報告(県・国)に関すること 4 水防各班との連絡調整に関すること 5 消防団及び水防協力団体との連絡調整に関すること 6 水防経費・水防器具資材の調達に関すること 7 水防計画に関すること
調査班	消防本部予防課長	予防課職員	1 被災箇所の調査報告に関すること
水防対策班	消防署消防第1・2課長	通信指令課職員 警防救急課職員 消防第1・2課 各分署職員	1 関係機関に対する通報連絡に関すること 2 気象通報の受理・報告に関すること 3 水害情報の収集・即報(県)に関すること 4 消防機関の出動に関すること 5 水防活動及びその指揮監督に関すること 6 出動隊との連絡調整に関すること 7 水防器具資材・人員の輸送に関すること
応急対策班	都市建設部整備課長	整備課職員 経済部農政課職員 経済部林政課職員 上下水道部下水道課職員	1 道路等の通行の確保及び道路情報の関係機関等への連絡に関すること 2 水防工事(危険箇所)に関すること 3 被災箇所等の応急措置(工事)に関すること 4 水利組合との連絡調整に関すること 5 水門調整に関すること 6 下水道に関すること
衛生救護班	保健福祉部健康課長	厚生課職員 健康課職員	1 被災者の救護・支援、被災地の衛生及び日赤業務に関すること
消防団	副団長	消防団員	1 水防巡視・警戒及び水防活動に関すること 2 出動隊との連絡調整に関すること

3 水防用資機材の備蓄状況

(令和7年4月1日現在)

設置場所	責任者	水防器具																			水防資材						
		のこぎり	なた	スコップ	つるはし	唐くわ	かけや	ペンチ	金づち	おの	鉄線切り		ハンマー		バール	まんのう	じょれん	しの	照明器具	救命胴衣	救命ボート	土のう袋	鉄線（kg）	杭	防水シート	砂（m）	土のう（袋）
											大	小	大	小													
鹿沼市消防署	消防署長	30	25	70	7	7	15	13	10	12	5	2	10	3	5	4	10	45	15	80	1	10,000	600	700	34	15	1,000
粟野分署	粟野分署長	10	5	10	2	2	2	2	1	2	3	1	2				2	8	5	30	1	5,500	150	110	15	2	250
東分署	東分署長	5	5	6	1	2	4	1	1	2	1	1	1	1			2	5	3	15	1	600	25	30	7		150
北分署	北分署長	5	3	5	1	2	3	1	1	2	1	1	1	1			2	5	2	15	1	1,150	45	33	9		150
北部防災コミュニティセンター	第2分団長	5	5	5	1	2	3	1	1	2	1	1		1				5	2			1,200	15	30		1	35
第5分団第2部車庫	第5分団長	5	3	5	1	2	2	1	1	2	1	1		1				3	2			1,000	50	30		1	
第6分団第2部車庫	第6分団長	5	3	5	1	2	2	1	1	2	1	1		1				3	2			1,000	20	30		1	
西大芦コミュニティセンター	第7分団長	5	3	15	1	2	2	1	1	2	1	2		1				3	2			1,100	40	30		1	
板荷コミュニティセンター	第8分団長	5	5	8	1	2	3	1	1	2	1	1		1				3	2			400	20	30		1	
南摩コミュニティセンター	第9分団長	10	5	10	3	5	4	1	1	2	1	1		1				3	2			1,300	50	70		1	50
合 計		85	62	139	19	28	40	23	19	30	16	12	14	11	5	4	16	83	37	140	4	23250	1015	1093	65	23	1635

火災・救急は 1 1 9

消防テレホンサービス

(自 動 音 声 応 答 式 2 4 時 間 3 6 5 日 対 応)

0 5 0 5 5 3 0 1 5 1 4

《ご案内内容》

医療機関情報や災害発生時には災害場所の情報などをお伝えしています。

令和 7 年 6 月刊行

編集発行 鹿沼市消防本部

〒322-0045

栃木県鹿沼市上殿町520-1

TEL (0289) 63-1153

FAX (0289) 63-5520